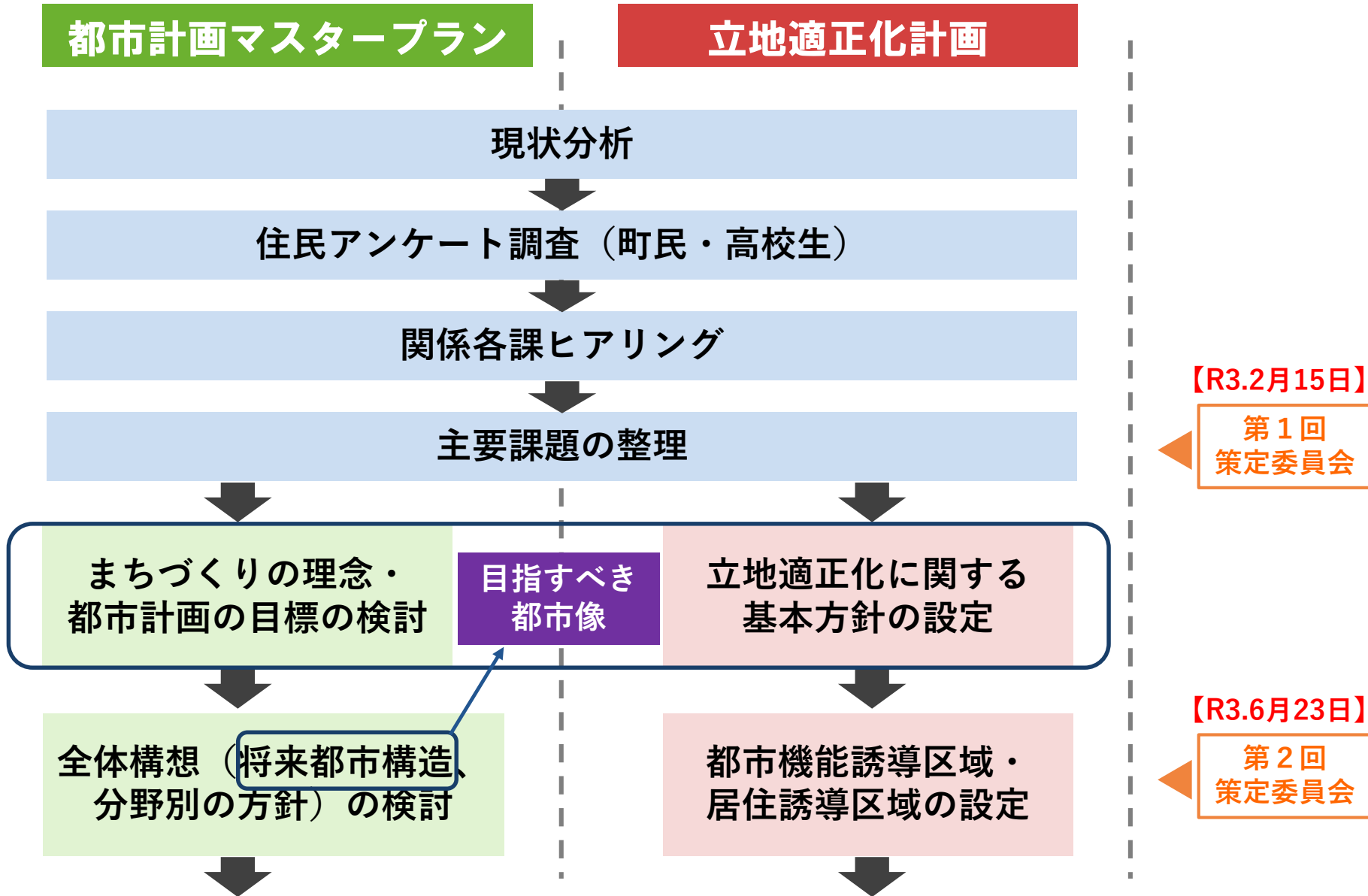


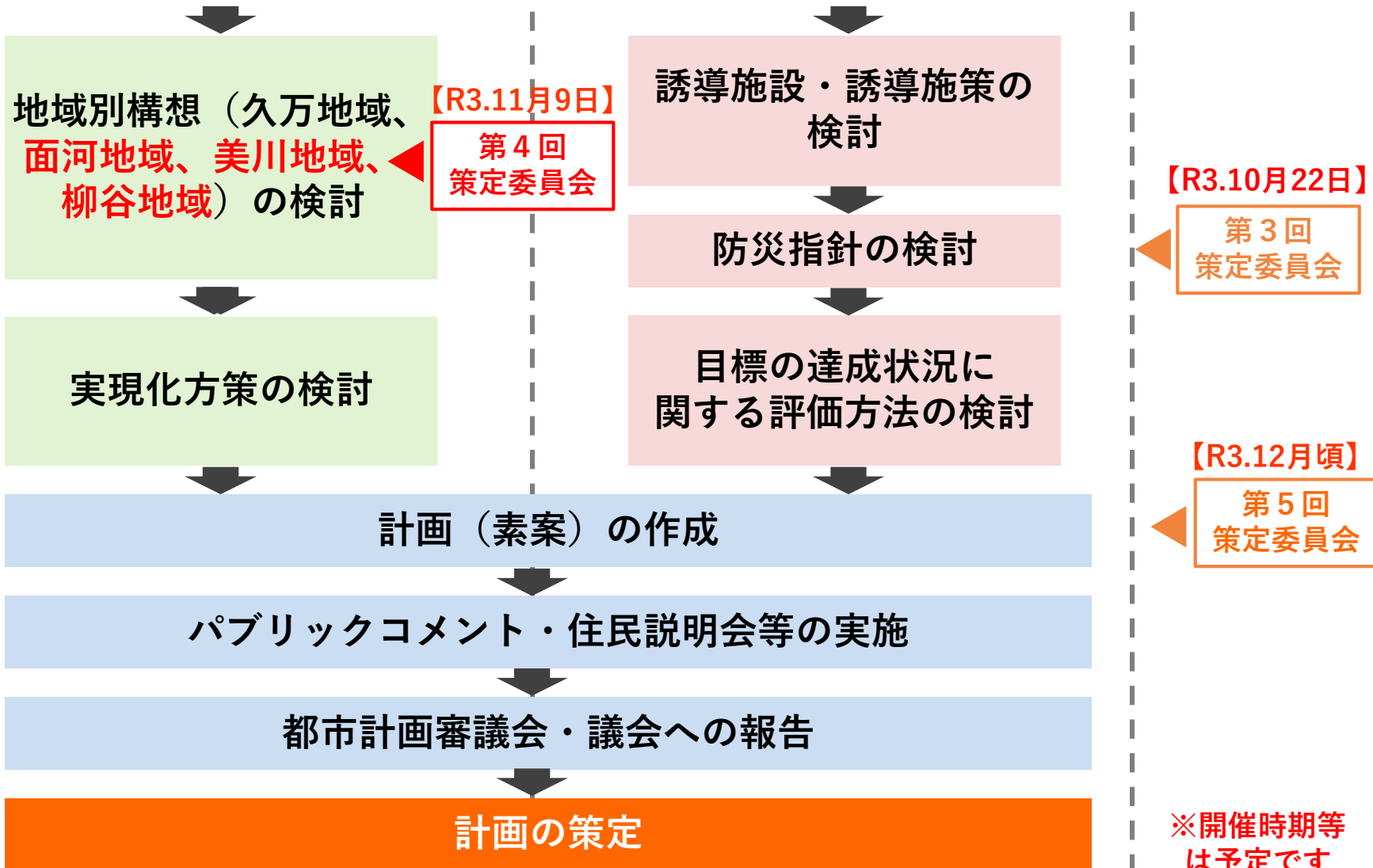
**第4回 久万高原町
都市計画マスタープラン等
策定委員会**

令和3年11月9日（火） 13：30～



都市計画マスタープラン

立地適正化計画



■ 都市計画マスタープランの構成

01 都市づくりの理念や目標

都市の現状分析や町民アンケート調査結果等から抽出された課題を踏まえ、**今後のまちづくりにおける基本理念や都市計画の目標**を掲げます

02 全体構想

町全域を対象とし、**目指すべき都市像**とその実現のための**主要課題に対応した整備方針**などを示します

03 地域別構想

町を**地域別に区分**し、**地域ごとのあるべき地域像、実施されるべき施策**などを示します

04 計画の実現に向けて

本計画の**実現に向けた取り組み**と**進行管理**について示します



▲ 地域別構想における地域区分

全体構想の振り返り①

（目指すべき都市像）

■ 都市づくりの理念

- ▶ 最上位計画である「第2次久万高原町総合計画」では、町の将来像として以下のとおり定めています

将来像

ひと・里・森がふれあい ともに輝く 元気なまち

～ 地域が手を取りあい まちを次代へ ～

「ひと」：まちに生きる人々、また地域外から訪れ交流する人々

「里」：地域や社会

「森」：森林や自然

「～ 地域が手を取りあい まちを次代へ～」：時代を乗り越える新たな自治体制

出典：第2次久万高原町総合計画

※ 総合計画と同様に上位計画である「久万都市計画区域マスタープラン」のまちづくりの目標も同様

→ **総合計画の将来像を継承し、「都市づくりの理念」として設定**

都市づくりの目標

▶ 主要課題を踏まえて、3つの目標を設定

【都市づくりの主要課題】

①持続可能な生活圏域の確保

②地域の実情に応じた移動手段の維持・確保

③若年層の流出抑制・確保

④公共施設等の老朽化への対応

⑤増大する災害リスクへの対応

⑥地域資源の保全・活用

⑦多様な主体との連携体制の強化

目標 1 歩いて暮らせるまちづくりと拠点間ネットワークの形成

目標 2 次世代の担い手が楽しく暮らせるまちづくり

目標 3 「高原ブランド」を活かした交流を育むまちづくり

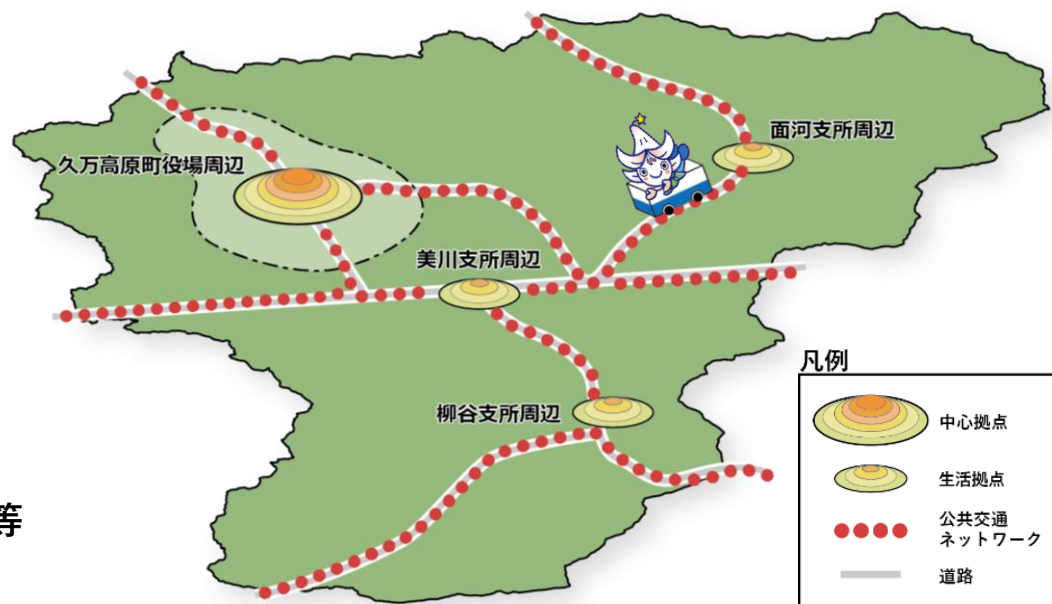
目標 4 安全・安心に住み続けられるまちづくり

目標1 歩いて暮らせるまちづくりと拠点間ネットワークの形成

- ▶ 一定程度の人口密度が確保された区域に**行政・介護福祉・子育て・商業・医療・教育などの都市機能を集約した拠点を形成**することにより、日常生活に必要なサービスを身近に享受できる、歩いて暮らせるまちづくりを目指します
- ▶ 町内の主な公共交通であるバス路線を維持・活用する観点から、**交通結節点であるバス停周辺に拠点を設定**するとともに、多様な主体と連携し、地域の実情等に応じた移動手段の導入について検討を行うなど、**拠点間ネットワークの形成**を推進します

※各集落から生活拠点までは地域運営協議会等による支援を検討

ネットワーク化された拠点の形成イメージ



【対応する課題】

①持続可能な生活圏域の確保

②地域の実情に応じた移動手段の維持・確保

⑦多様な主体との連携体制の強化

目標2 次世代の担い手が楽しく暮らせるまちづくり

- ▶ 町外へ出た若年層でも再び帰ってきたいと思えるような魅力的なまちづくりを推進するため、**地域に必要な機能の充実によるまちの賑わい創出を図るとともに**、林業などの町を代表する産業基盤の担い手不足の解消するため、**誘導施策と連動した産業の継承に向けた取組**を推進します。
- ▶ ウィズ・コロナ、ポスト・コロナの時代の働き方として、多様な働き方への期待が高まっている傾向を踏まえつつ、**豊かな自然環境に囲まれている本町の特性**や増加が懸念されている空き家・空き地等の低未利用地を活用し、**テレワーク等の「新しい働き方」**に対応したまちづくりを推進します



お試し住宅（父二峰住宅、面河渋草住宅）

【対応する課題】

③若年層の流出抑制・確保

⑥地域資源の保全・活用

⑦多様な主体との連携体制の強化

目標3 「高原ブランド」を活かした交流を育むまちづくり

- ▶ **高原ブランド**（トマト・ピーマンなどの高原野菜、久万高原天体観測館、面河山岳博物館などの文化施設、道の駅 天空の郷さんさん、自然景勝地などの「高原」イメージを引き立てる、本町独自の魅力ある地域資源）**を活かした交流**により、地域振興や町民のまちへの誇りを醸成します
- ▶ 石鎚山や面河溪、四国カルスト等の町を代表する自然景勝地のほか、キャンプ場等の**自然環境を活かした多様なレクリエーション活動**ができる場の**維持・充実**を図るとともに、松山市等の都市圏から近いという地理的条件を活かし、定住人口のみならず、**関係人口の増加に向けて戦略的に取り組み**、地域活力の向上を図ります



道の駅 天空の郷さんさん

【対応する課題】

③若年層の流出抑制・確保

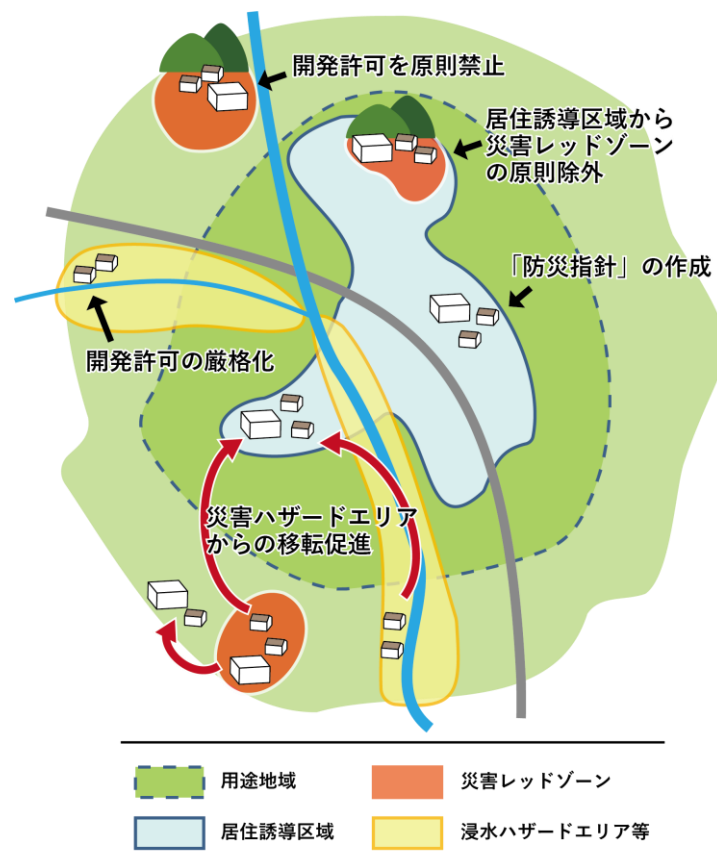
⑥地域資源の保全・活用

⑦多様な主体との連携体制の強化

目標4 安全・安心に住み続けられるまちづくり

- ▶ 町民がいつまでも安全・安心に暮らせるまちづくりを実現するため、今後、発生するおそれのある災害を踏まえた誘導区域の設定を行うとともに、住宅の耐震化・不燃化の促進や空き家等対策を推進するなど、**ハード・ソフト施策による総合的な防災・減災対策**を推進します
- ▶ 老朽化が進行する公共施設等については、**財政制約下での効率的なストック活用や長寿命化**に取り組むとともに、**建築後40年が経過する町立病院の建替え検討を契機として、多世代が安心して生活できる地域医療の維持・充実を図る**など、**都市機能の維持・強化**を図ります

防災・減災対策の推進イメージ



【対応する課題】

④ 公共施設等の老朽化への対応

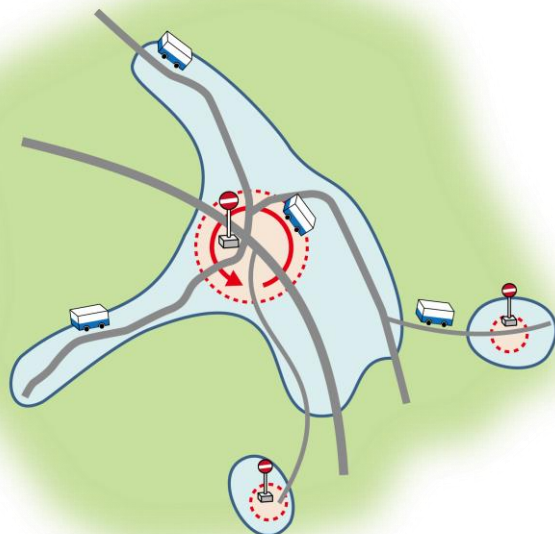
⑤ 増大する災害リスクへの対応

⑦ 多様な主体との連携体制の強化

- ▶ 国では都市が抱える課題に対応するため『コンパクト・プラス・ネットワーク』の都市構造による都市づくりを推進

Point 『コンパクト・プラス・ネットワーク』とは (前回委員会資料より)

- ▶ 居住や都市機能の集積による「密度の経済」を通じて、「住民の生活利便性の維持・向上」や「行政サービスの効率化等による行政コストの削減」などを実現



中心拠点や生活拠点が利便性の高い公共交通で結ばれた多極ネットワーク型コンパクトシティ



コンパクトシティ

生活サービス機能と居住を集約・誘導し、人口を集積

+

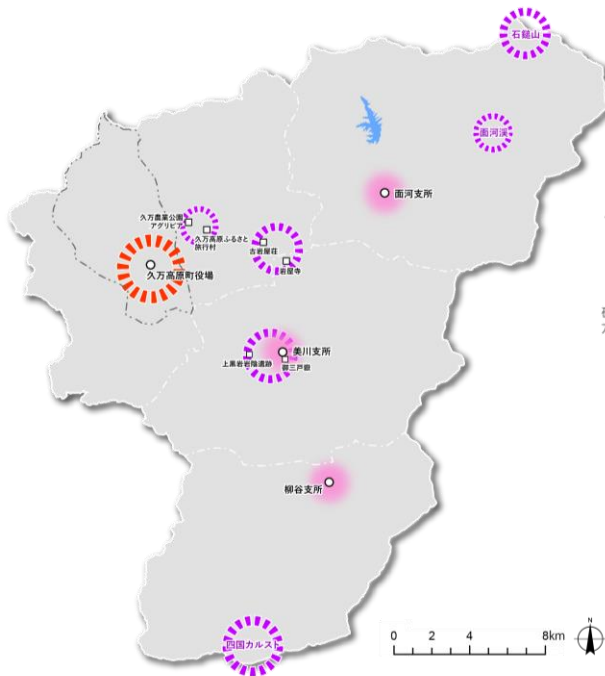
ネットワーク

まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築

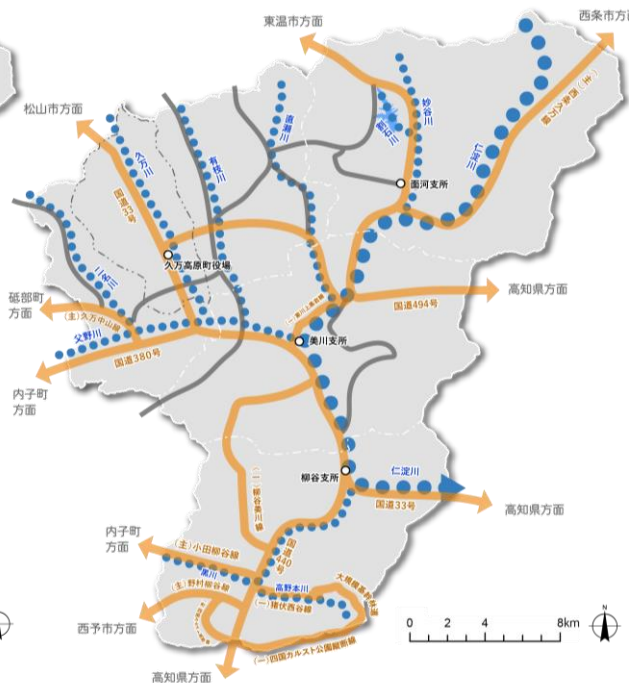
▶ 以下の3つの要素による将来都市構造を設定

- ① 都市機能が集積し都市活動を支える【拠点】
- ② それらを結びつける交通網や自然環境等からなる【軸】
- ③ 土地利用の基本的な方向を定める【ゾーン】

【拠点】



【軸】



【ゾーン】



① 拠点

中心拠点

久万高原町役場
周辺

町の中心部として利便性が高く
賑わいの創出を図る拠点

町全域の暮らしに必要な商業、
医療・福祉等の多様な都市機能
の充実とまちなか居住を推進し
ます



中心拠点

拠点の設定



① 拠点

生活拠点

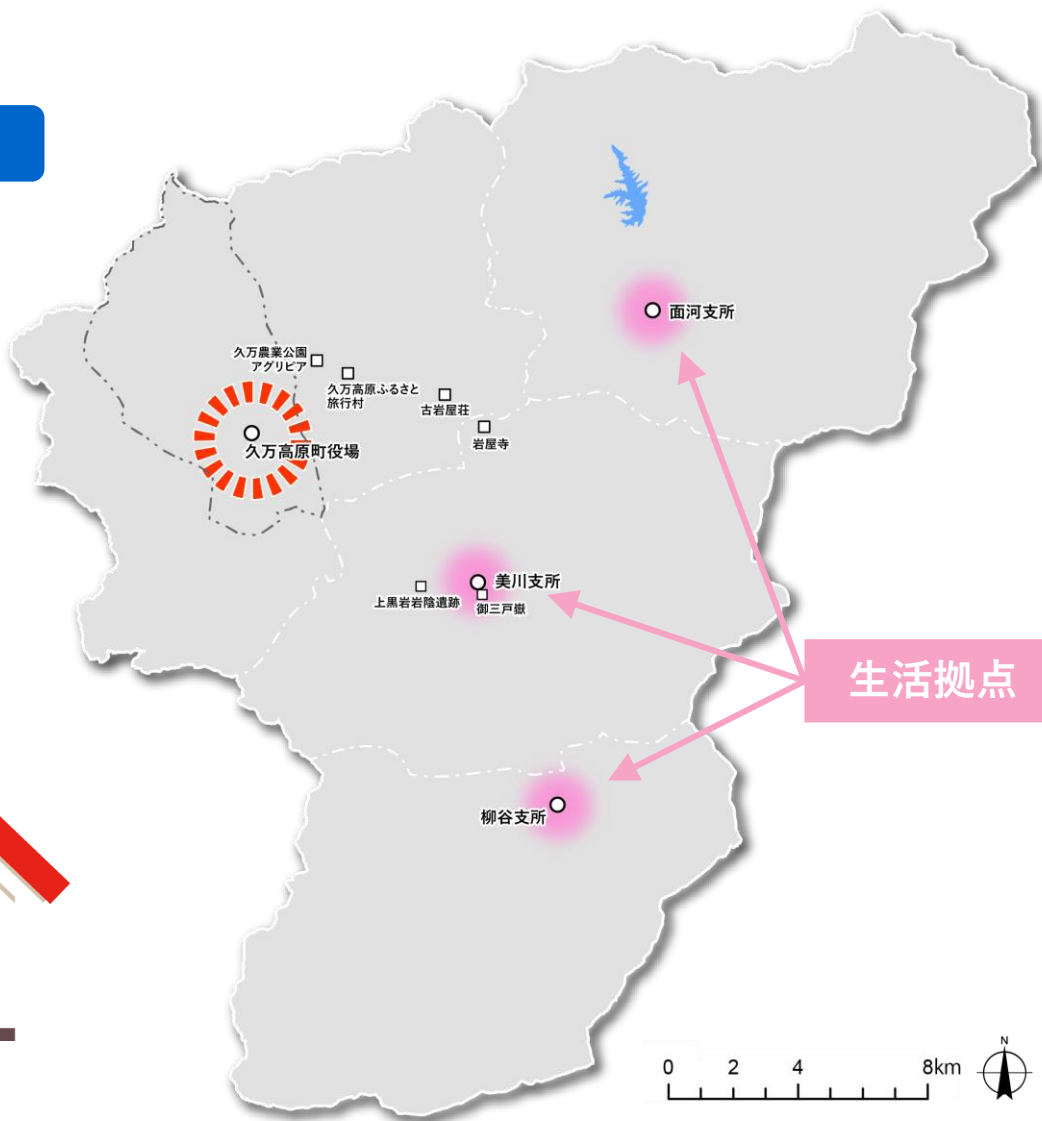
支所周辺

日常生活圏を対象とした
各地域における拠点

中心拠点との連携を図りつつ、日常生活に必要なサービス施設等の維持・確保を図り、地域コミュニティの維持を推進します



拠点の設定



① 拠点

自然・文化交流拠点

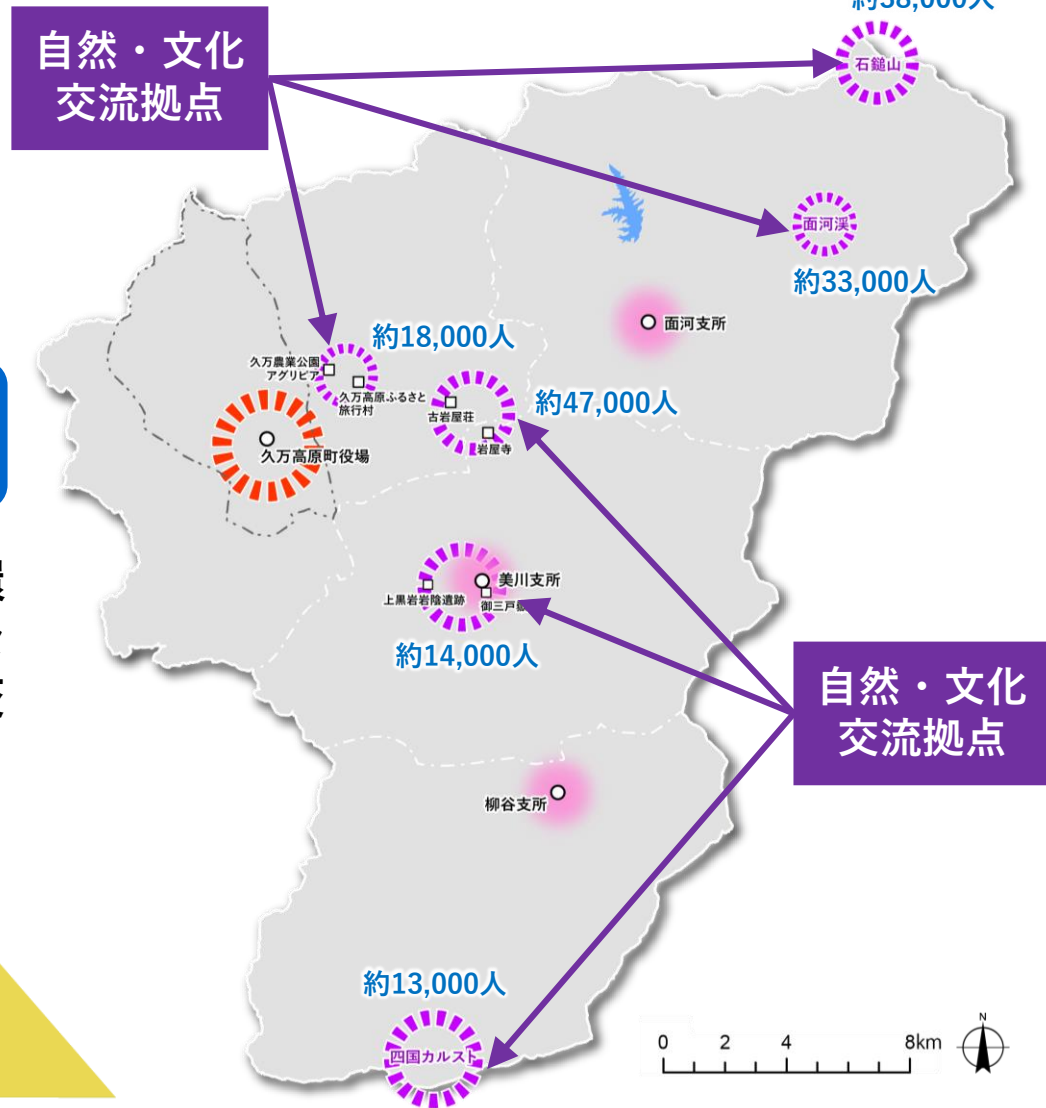
レクリエーションの場として
町内外の交流を促進する拠点

一定の観光客数（年間約1万人以上）が
見込まれるレクリエーション活動の場

久万高原町が保有する豊かな自然環境や歴史・文化的資源などの多様な地域資源を活用し、多世代による交流活動を牽引します



拠点の設定



※青字は直近5年間（H27～R1）の年平均観光入込客数（各拠点内で最も多い値）

② 軸

↔ **広域連携軸** 国道
主要地方道など

主に広域的な連携・相互補完を担う幹線道路

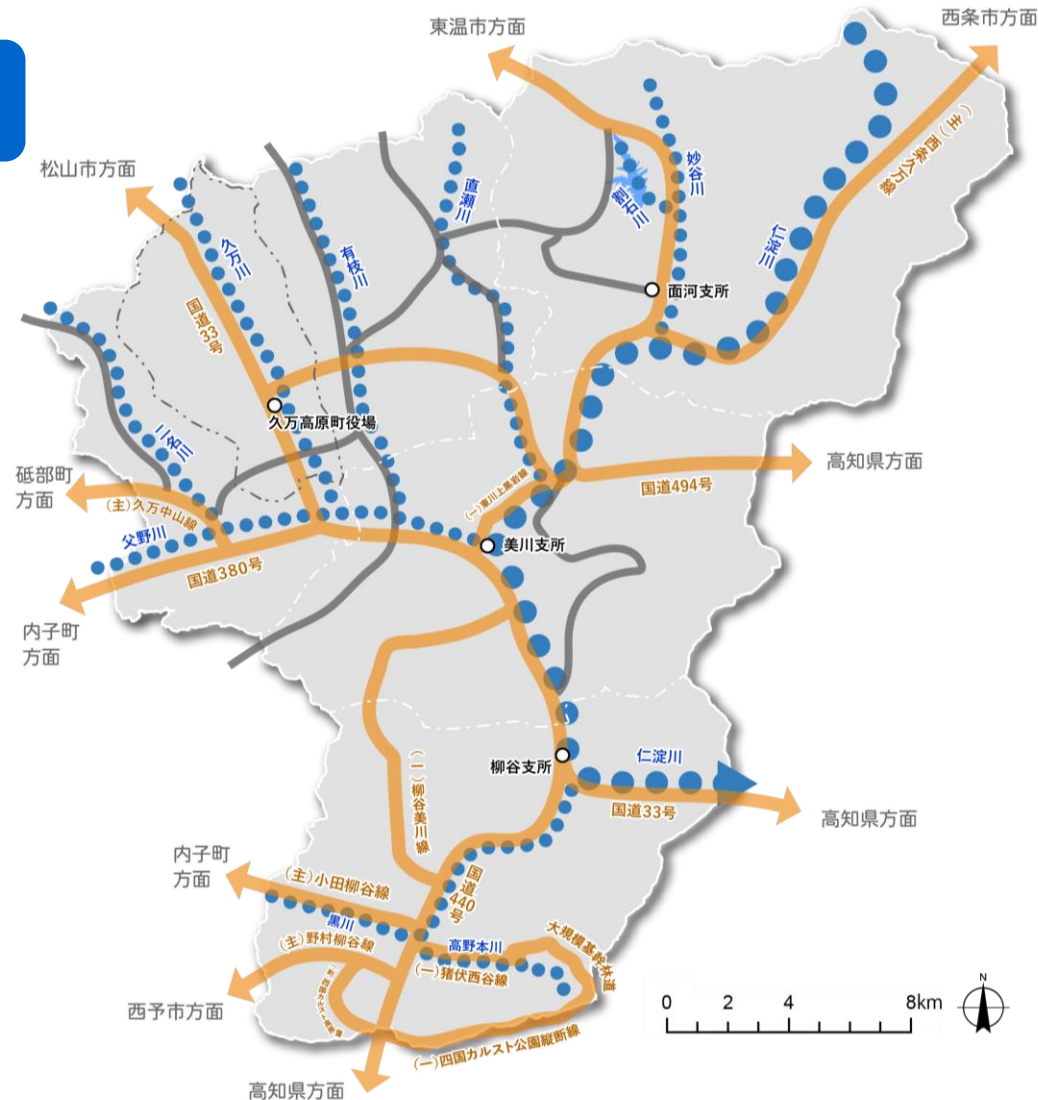
↔ **地域連携軸** 一般県道など

主に町内の拠点と周辺地域間の相互補完・機能分担を支援・連携する道路

◆◆◆ **自然環境軸** 主要河川

水と緑のネットワークを形成し、生活に潤いを与え、良好な自然環境と景観の保全を図る軸

軸の設定



③ ゾーン

市街地ゾーン

用途地域指定
エリア

都市の魅力向上の観点や環境負荷の低減等から、コンパクトな市街地の形成と快適な住環境の創出を図るゾーン

農業集落ゾーン

農地、
集落地など

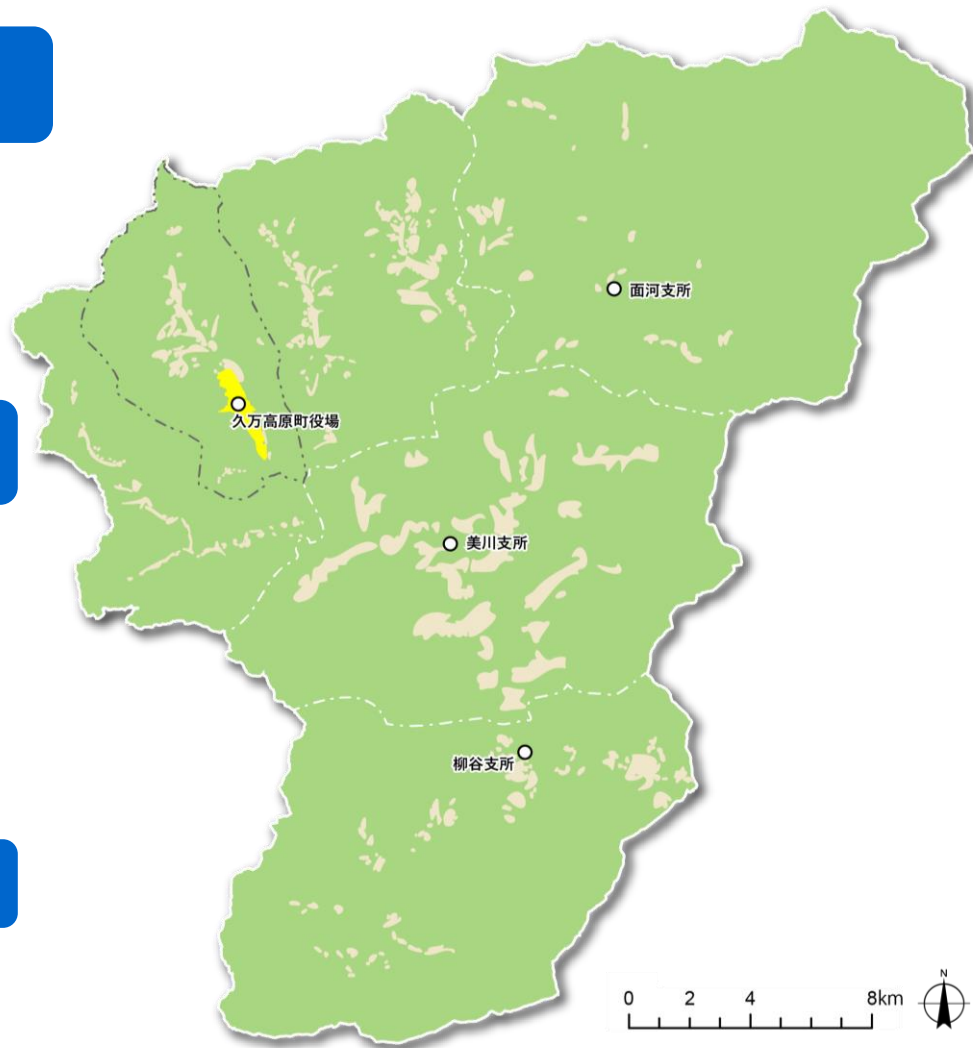
農業の振興や優良農地の保全を図るとともに、既存集落地における生活環境の維持に努め、田園環境と生活の共生を図るゾーン

森林ゾーン

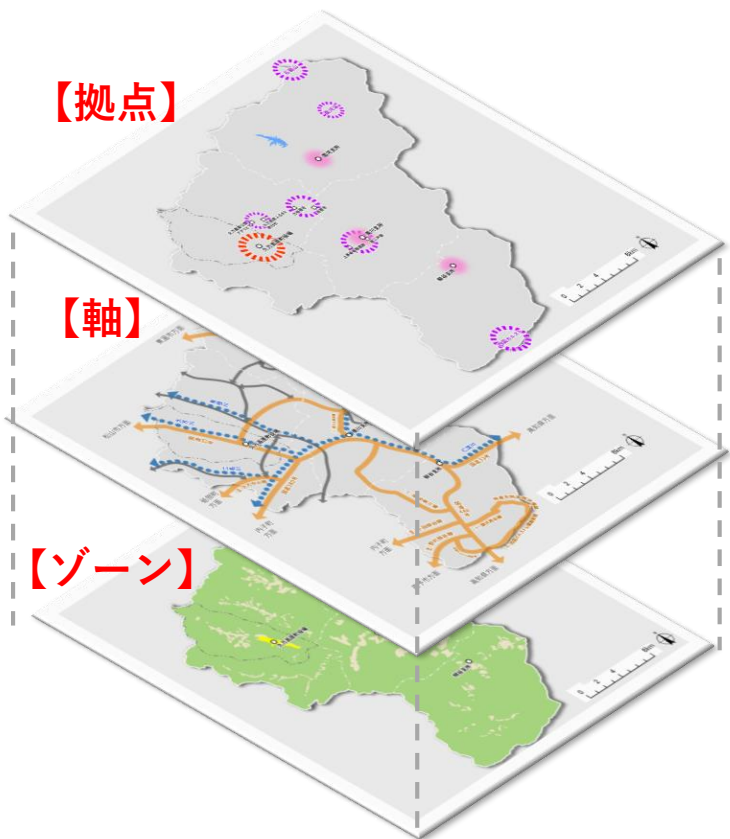
山地、丘陵地など

都市生活に潤いを与えてくれる大切な自然環境として、適切な保全・活用を図るゾーン

ゾーンの設定

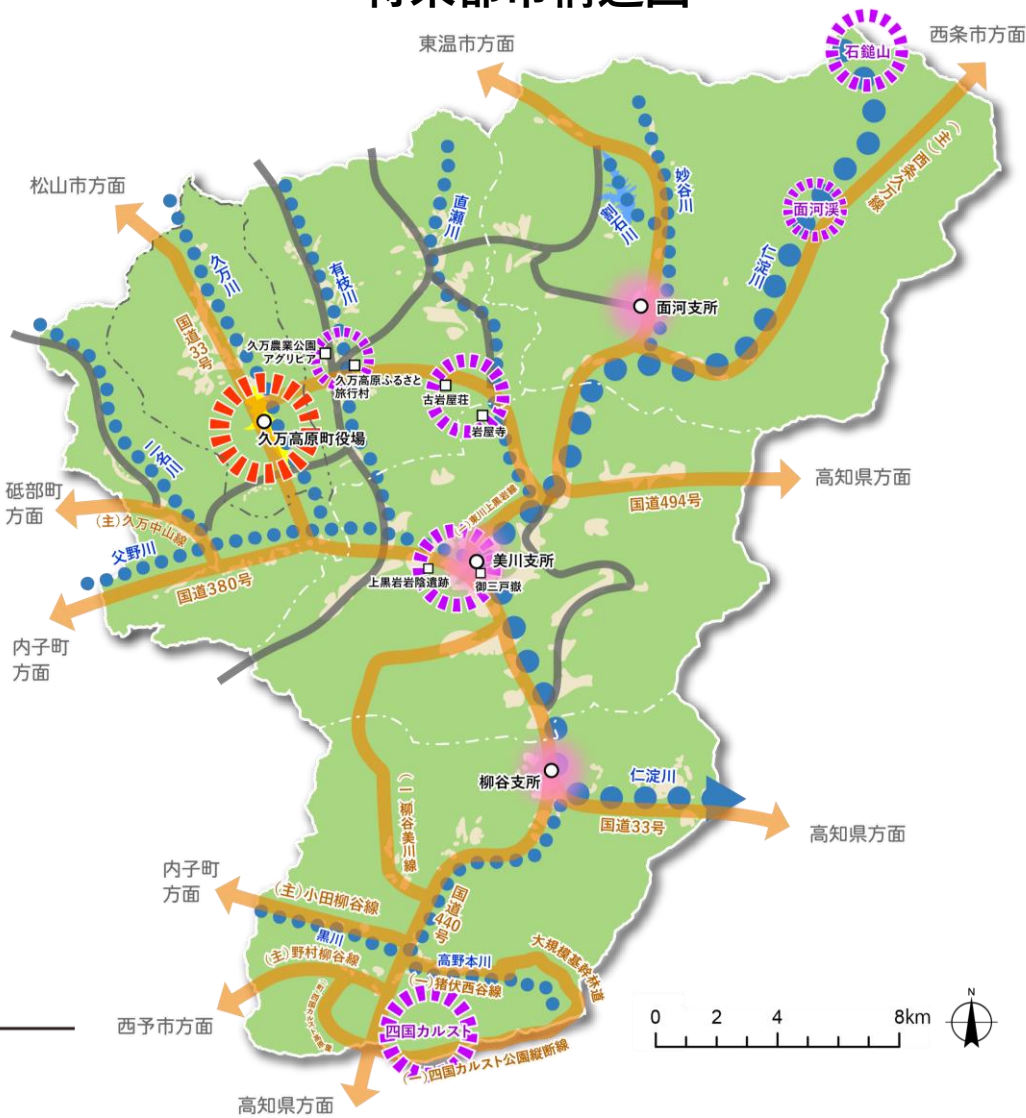


▶ 3つの要素を重ね合わせて設定



拠点	軸	ゾーン		
中心拠点	広域連携軸	市街地ゾーン	役場・支所	行政界
生活拠点	地域連携軸	田園集落ゾーン	主要な施設等	地域界
自然・文化交流拠点	自然環境軸	森林ゾーン	水辺地	都市計画区域界

将来都市構造図



全体構想の振り返り②

（分野別の整備方針）

▶ 『分野別の整備方針』の記載事項は以下のとおり

1 土地利用の方針

2 都市施設等の方針

（1）交通施設

（2）河川・下水道

（3）その他の施設

3 市街地・居住地整備の方針

4 自然的環境保全・活用の方針

5 都市防災の方針

6 景観形成の方針

7 医療・福祉関連の方針

■ 基本方針

- ▶ 将来都市構造を踏まえ、都市機能の充実と秩序ある土地利用の形成を図るため本町を**市街地ゾーン**、**農業集落ゾーン**、**森林ゾーン**にそれぞれ区分し、主要用途の配置方針を定めます

■ 構成

（1）土地利用区分

- ▶ 土地利用区分（住宅地、商業・業務地、工業地、農業・集落地、生活拠点形成エリア、森林・丘陵地）の考え方

（2）土地利用の配置方針

- ▶ 土地利用の配置と土地利用毎の方針

（2）土地利用の配置方針

土地利用計画図

①市街地ゾーン

- ▶ 用途地域指定エリアに位置づけ

②農業集落ゾーン

農地・集落地

- ▶ 農業の振興や既存集落の生活環境の維持

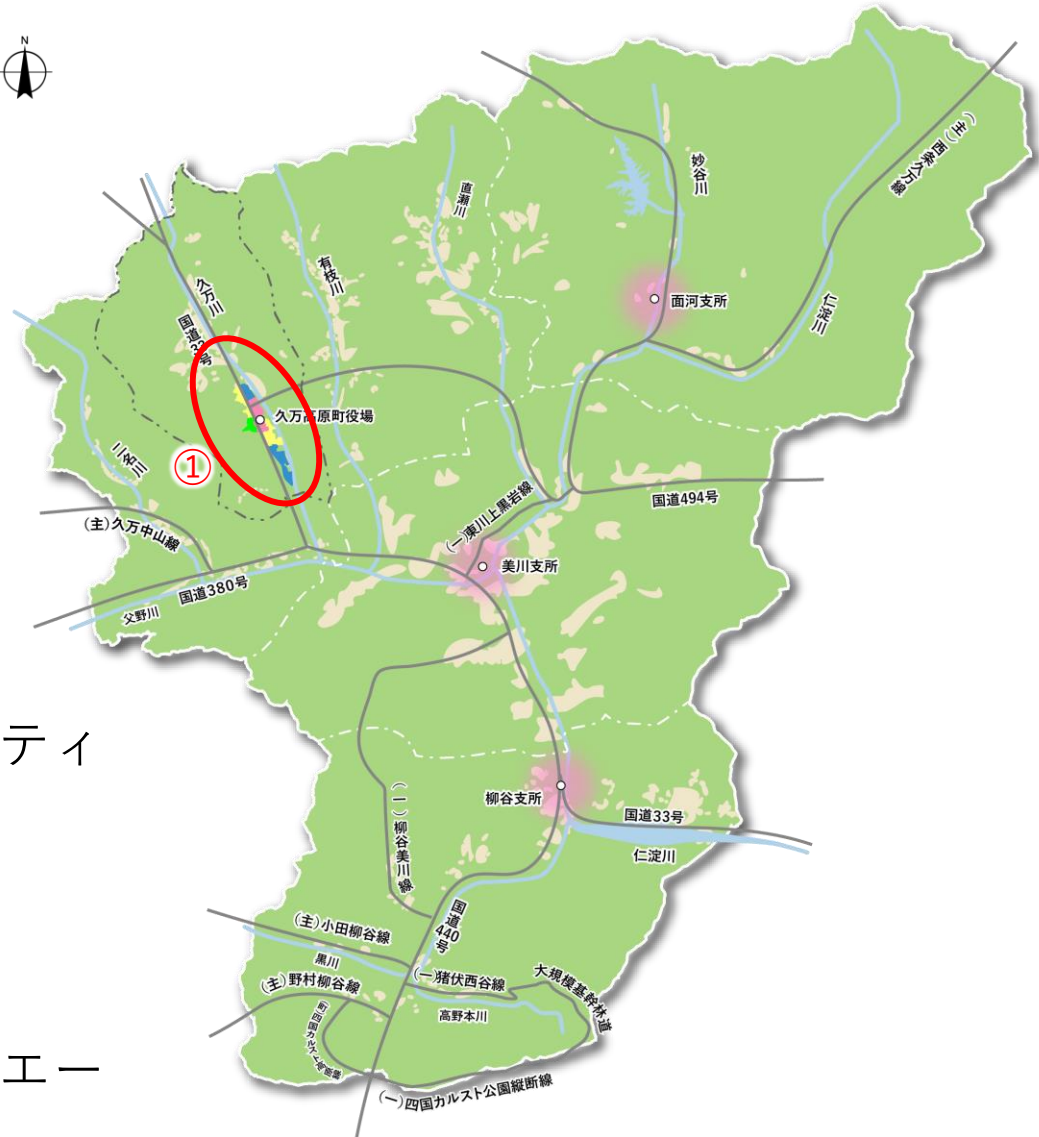
生活拠点形成エリア

- ▶ 地域活力及び地域コミュニティの維持

③森林ゾーン

山林・丘陵地

- ▶ 森林の育成・保全、レクリエーションの場として活用



■ 基本方針

- ▶ 松山市や高知県等との**広域的な交流・連携**及び町内における**拠点間ネットワークの構築**による効率的で円滑な総合交通体系の機能強化を図ります
- ▶ 自転車・歩行者空間については、誰もが安全で快適に暮らせる生活環境を整えるとともに、観光客等の来訪者に対してもわかりやすく**快適に散策できる空間の形成**を図ります
- ▶ 住民や観光客等の来訪者にとって大切な交通手段である**公共交通については、維持・確保**を図るとともに、交通事業者、住民、行政等が連携し、利用者のニーズや地域の実情に応じた**新たな移動手段の導入**等についても検討します



久万街道

方針図

自動車専用道路

- ▶ 高規格幹線道路を補完する地域高規格道路

高知県松山自動車道
(構想線)、三坂道路

広域幹線道路

- ▶ 広域的な連携・相互補完を担う広域幹線道路

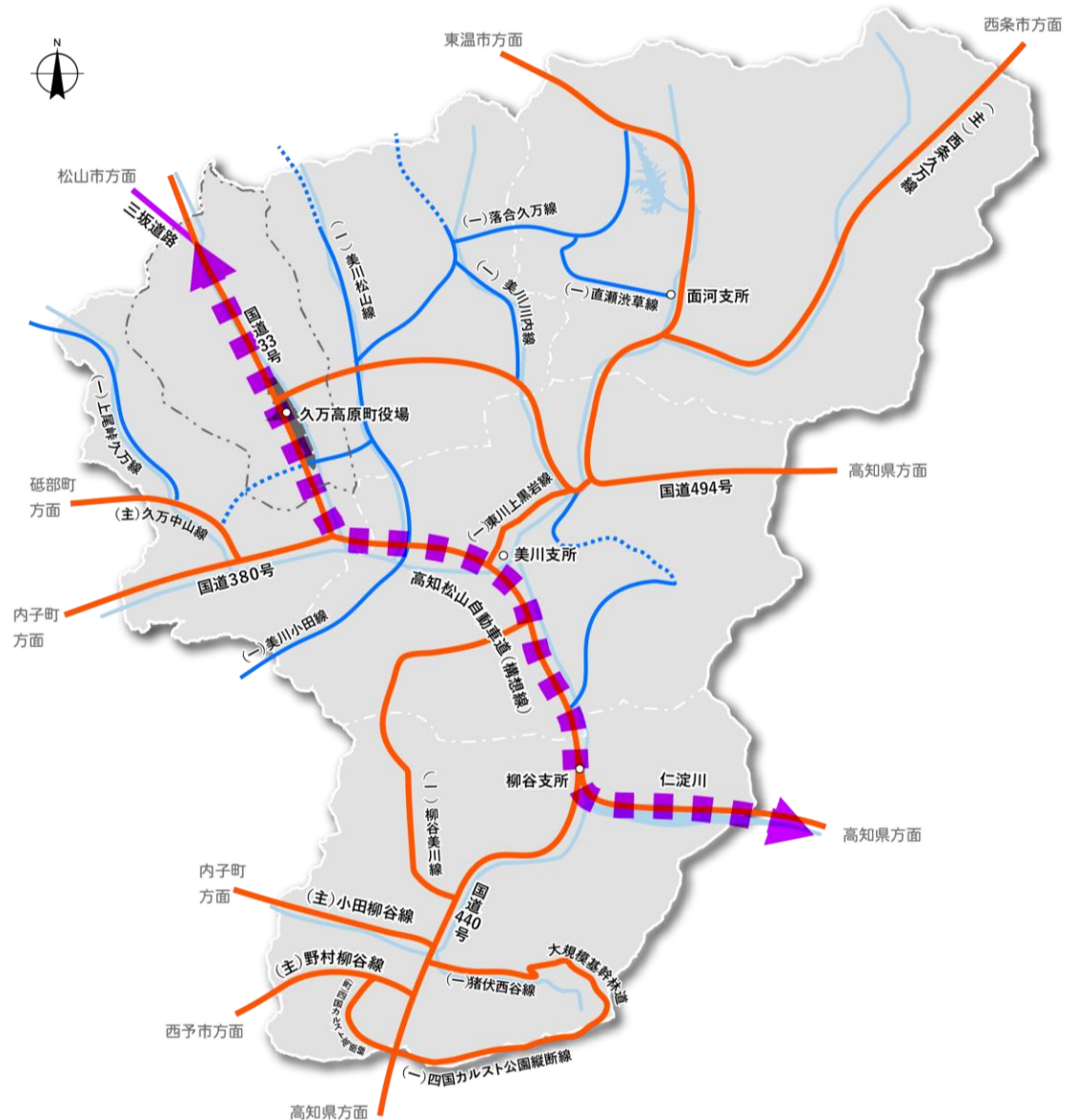
国道、主要地方道など

地域間幹線道路

- ▶ 町内の拠点と地域を繋ぐネットワーク

一般県道など

道路網計画図



■ 基本方針

- ▶ 本町は、四国山地の標高400～800mの高原に位置し、町面積の9割以上が山林に覆われているなど、豊かな緑とその優れた景観を有する自然環境に大変恵まれたまちであるため、都市に潤いを与える貴重な環境、また林業に代表される生産資源であることに着目しつつ、**引き続き保全・育成を図るとともに地域資源としての活用を図ります**
- ▶ 公園・緑地は人々の身近な憩いの場となり、都市にやすらぎとうるおいをもたらす貴重な空間であり、また、避難所や延焼遮断帯として重要な役割を担っているため、**住民のニーズを踏まえつつ適正な配置及び維持管理を推進するとともに、レクリエーション活動の場として機能強化を図ります**



石鎚国定公園



四国カルスト

■ 方針図

自然・文化交流拠点

- ▶ 交流活動を促すレクリエーションの場としての活用 など

主な都市公園等

- ▶ 適切な維持・更新 など

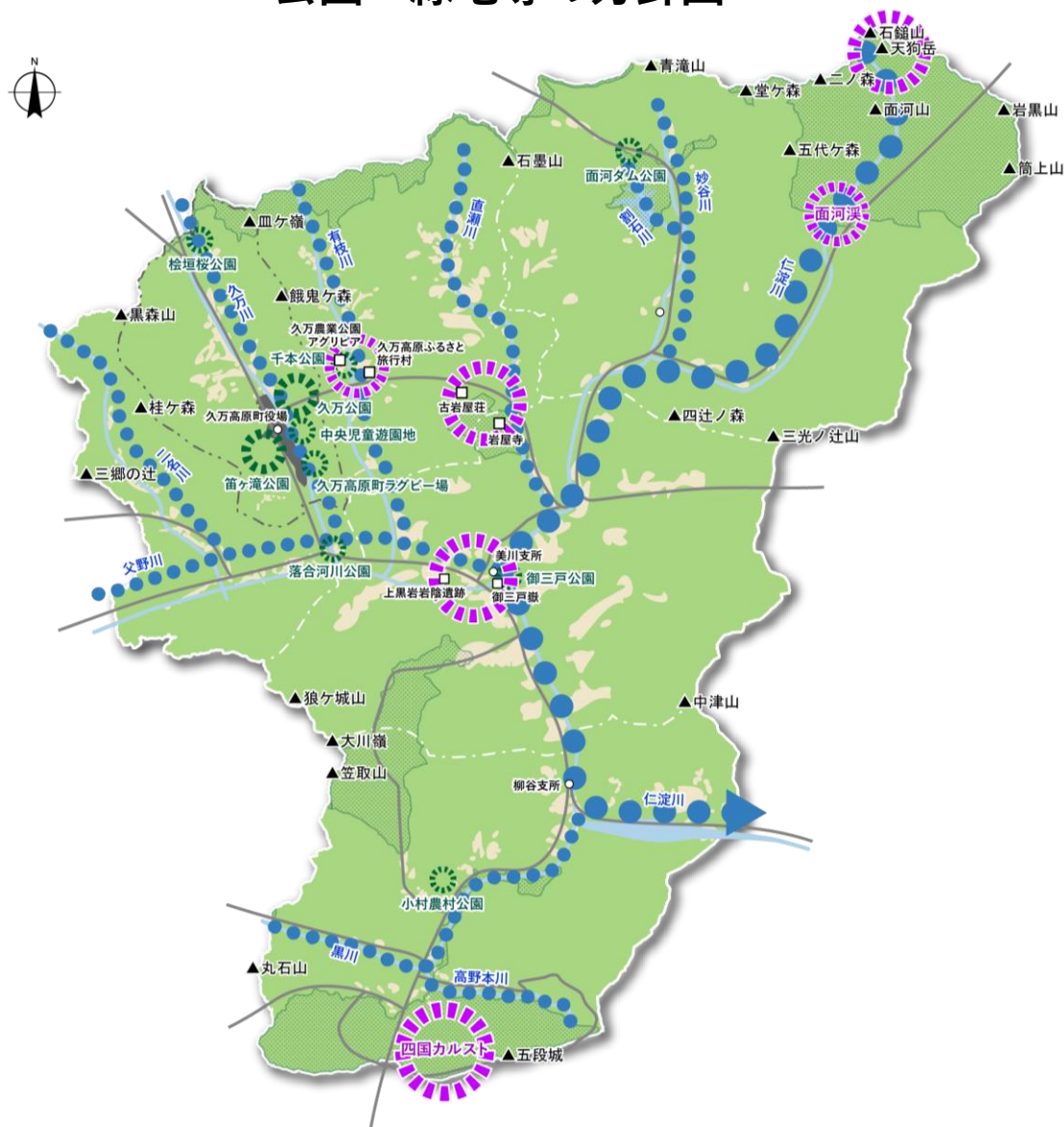
自然環境軸

- ▶ レクリエーションの場を繋ぐネットワークの形成 など

自然公園等区域

- ▶ 各種法令や条例等に基づいた適切な保全 など

公園・緑地等の方針図



地域別構想（面河・美川・柳谷 地域）について

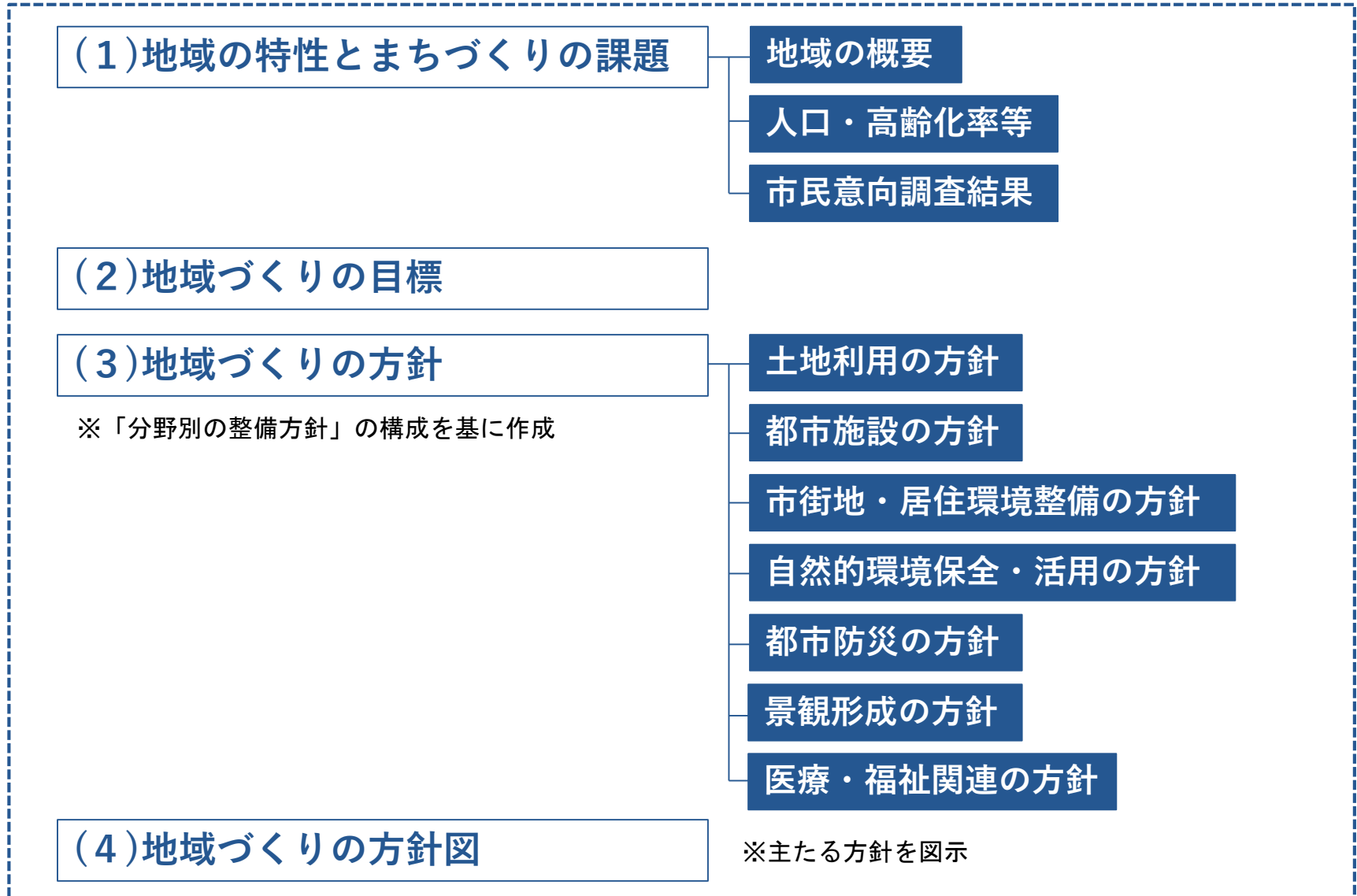
地域別構想とは…

久万高原町を地域の特性に応じて区分し、全体構想（目指すべき都市像、分野別の整備方針）を基本とした地域レベルの都市づくり（地域づくり）の基本的な方向を示すもの



➡ 旧町村単位である
4つの地域に区分

地域別構想の構成は以下のとおり



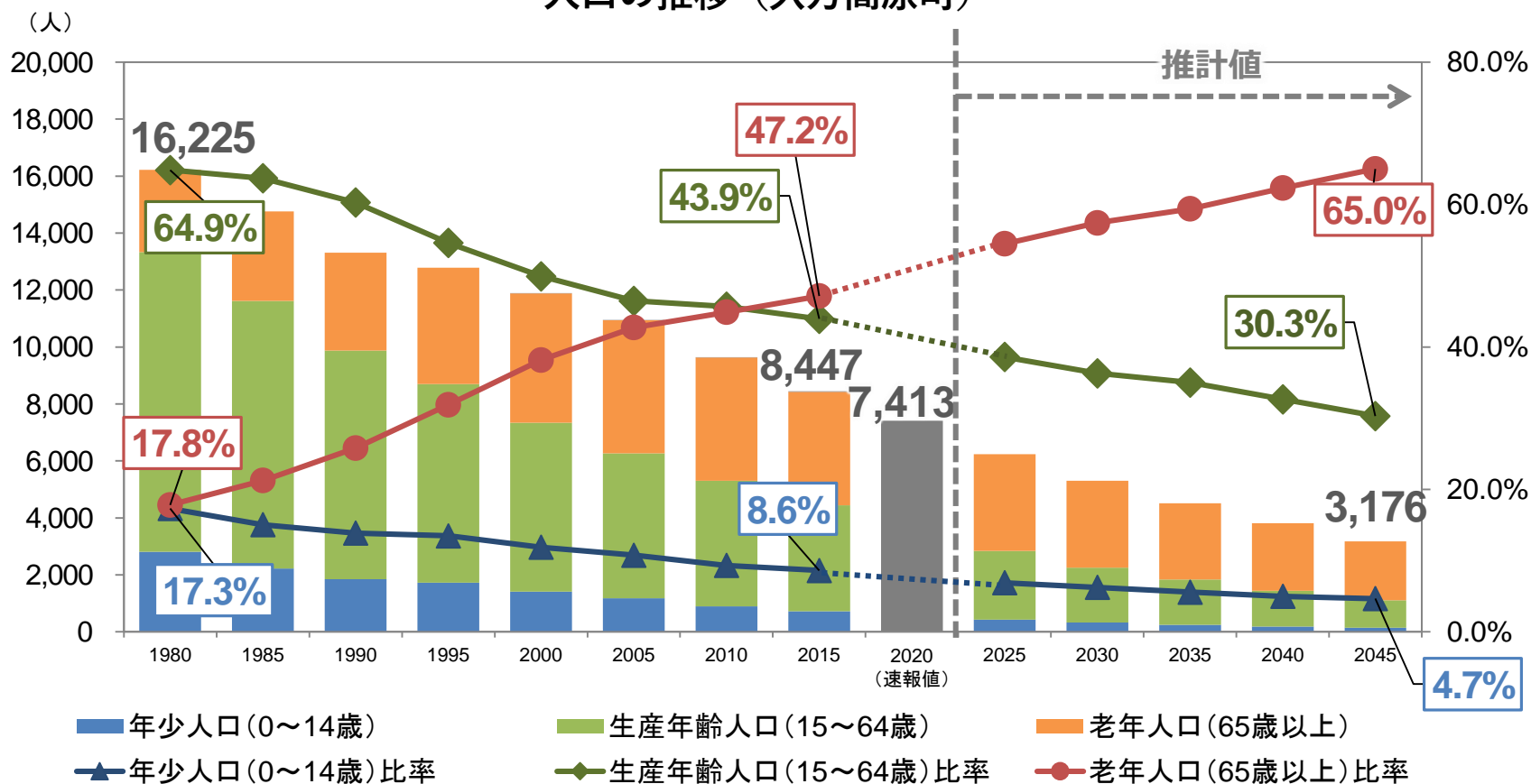
(1) 地域の特性とまちづくりの課題

面河地域 ・ 美川地域 ・ 柳谷地域

人口 (久万高原町)

▶ 町全体の人口は**減少傾向**であり、今後も続くと推計

人口の推移 (久万高原町)

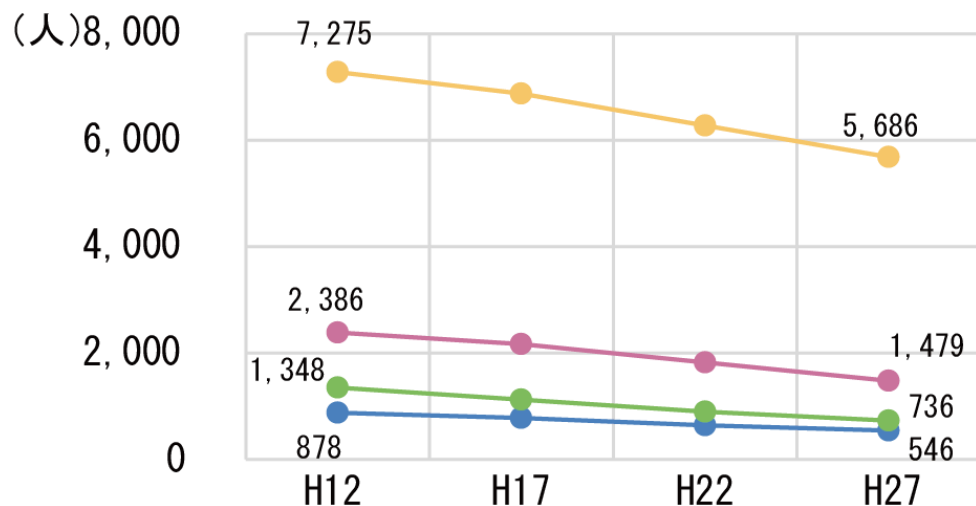


出典：国勢調査 (1980年~2020年)、国立社会保障・人口問題研究所 (2025年~2045年)

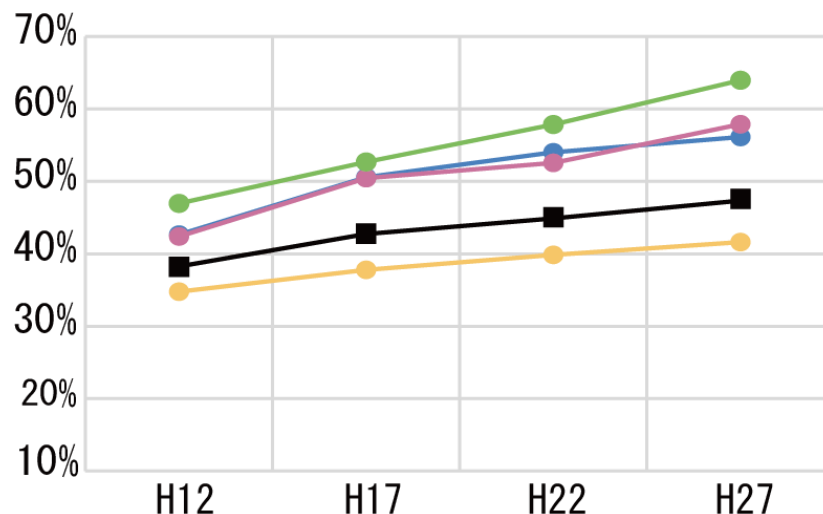
人口・高齢化率 (地域別)

- ▶ 人口推移は町全体と同様に**減少傾向** (面河地域は約500人)
- ▶ 面河・美川・柳谷地域は**過半数が高齢者** (特に柳谷地域は64.0%)

人口の推移 (地域別)



高齢化率の推移

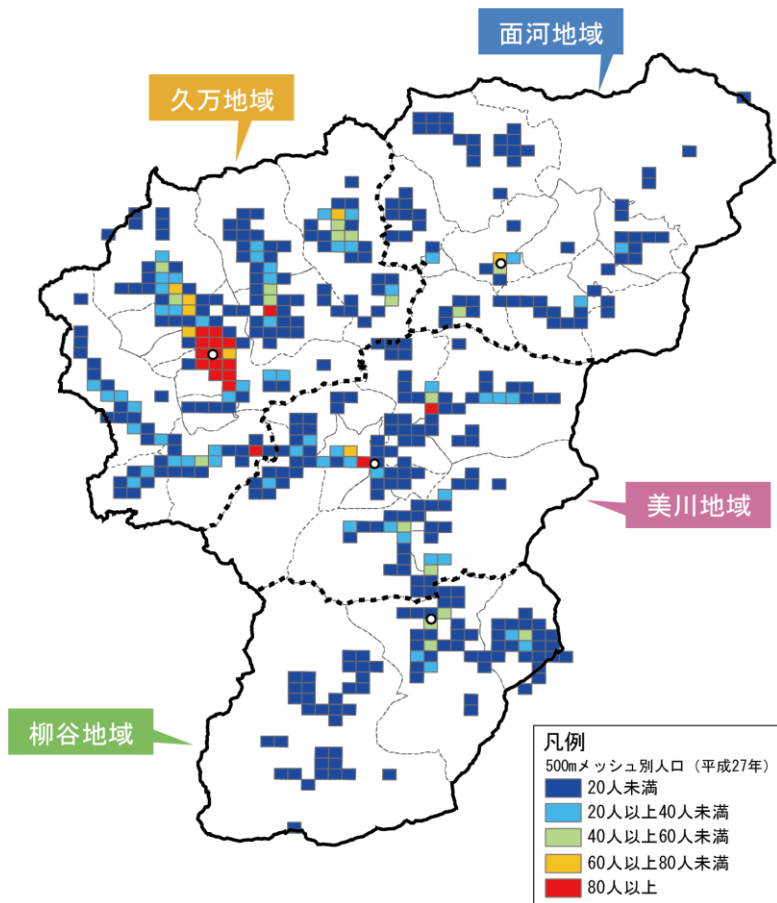


凡例 久万地域 面河地域 美川地域 柳谷地域 久万高原町

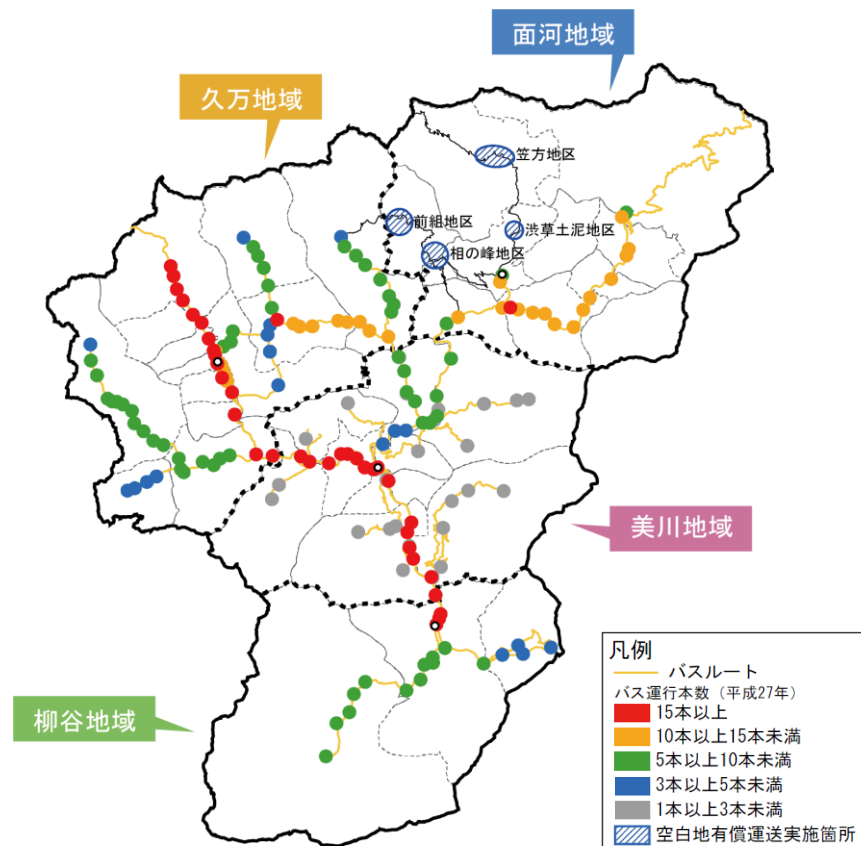
人口分布と公共交通カバー圏域

- ▶ 支所周辺等で比較的人口が分布し、国道等の主要幹線道路沿道で比較的公共交通利便性も高い（一部デマンド交通も運用開始）

人口分布 (H27)



公共交通カバー圏域

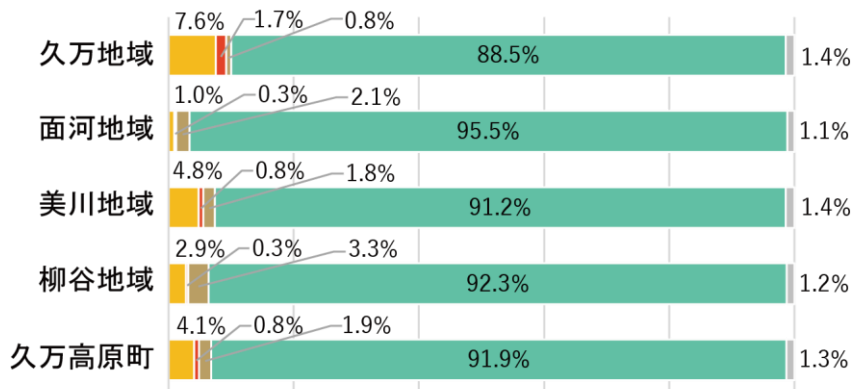


出典：国勢調査 (1980年～2020年)、町提供資料

土地利用

▶ 久万地域を除いた全てで9割以上が森林
(特に面河地域の割合が多い)

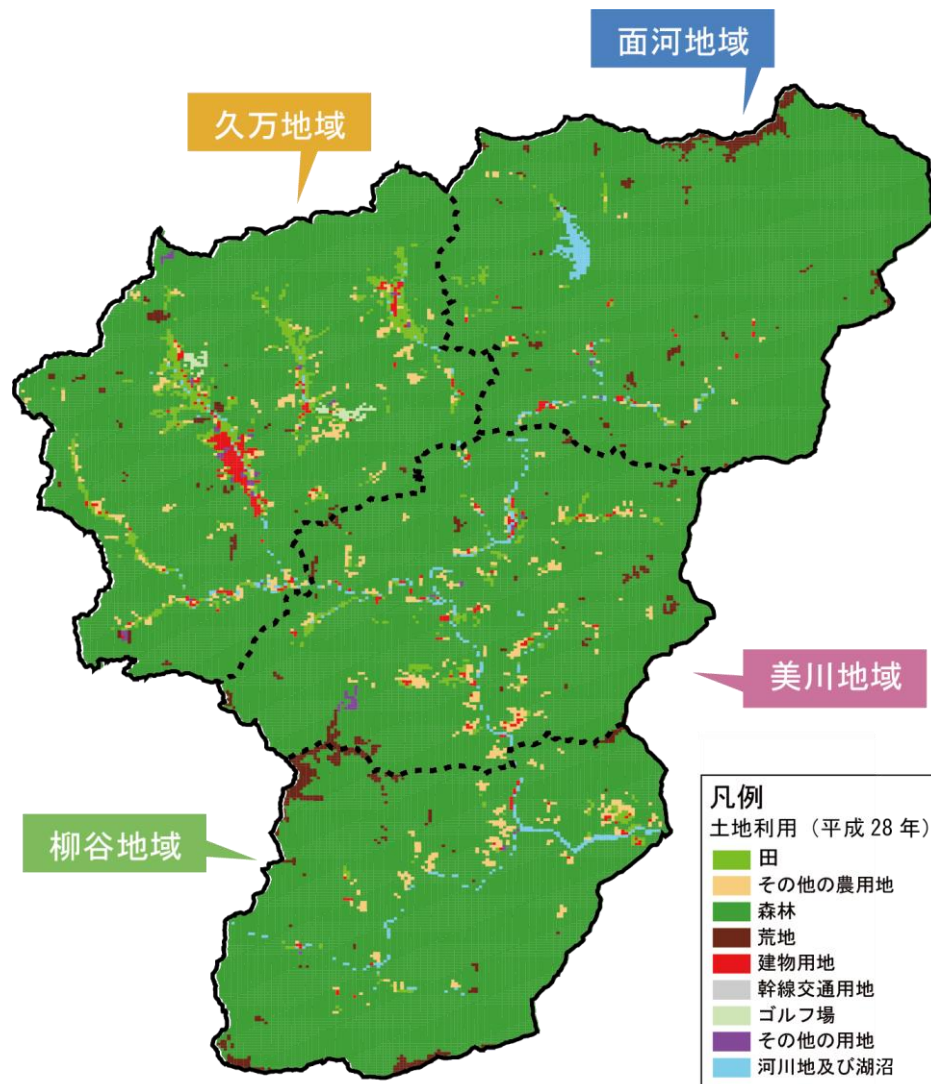
土地利用の構成比率



※1%未満は数値の表示を省略

凡例 ■ 農用地 ■ 建物用地 ■ 荒地 ■ 森林 ■ その他

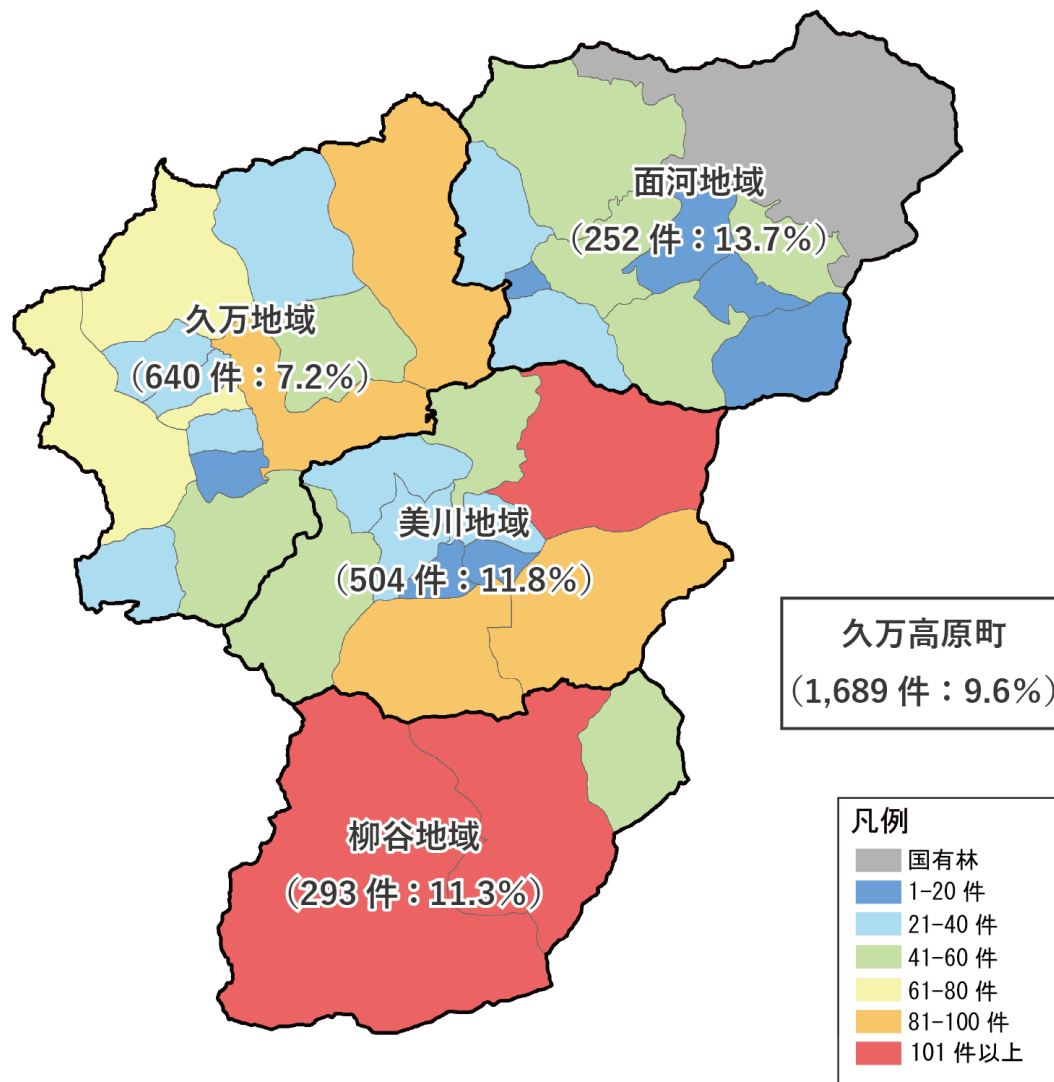
土地利用現況



空き家率

- ▶ 空き家率は**面河地域**が**13.7%**と最も多い
- ▶ **美川・柳谷地域**も**11%以上**となっており、**町平均 (9.6%)**を上回る
- ▶ 空き家数では、**久万地域 (640件)**に次いで**美川地域が500件以上**と比較的多い

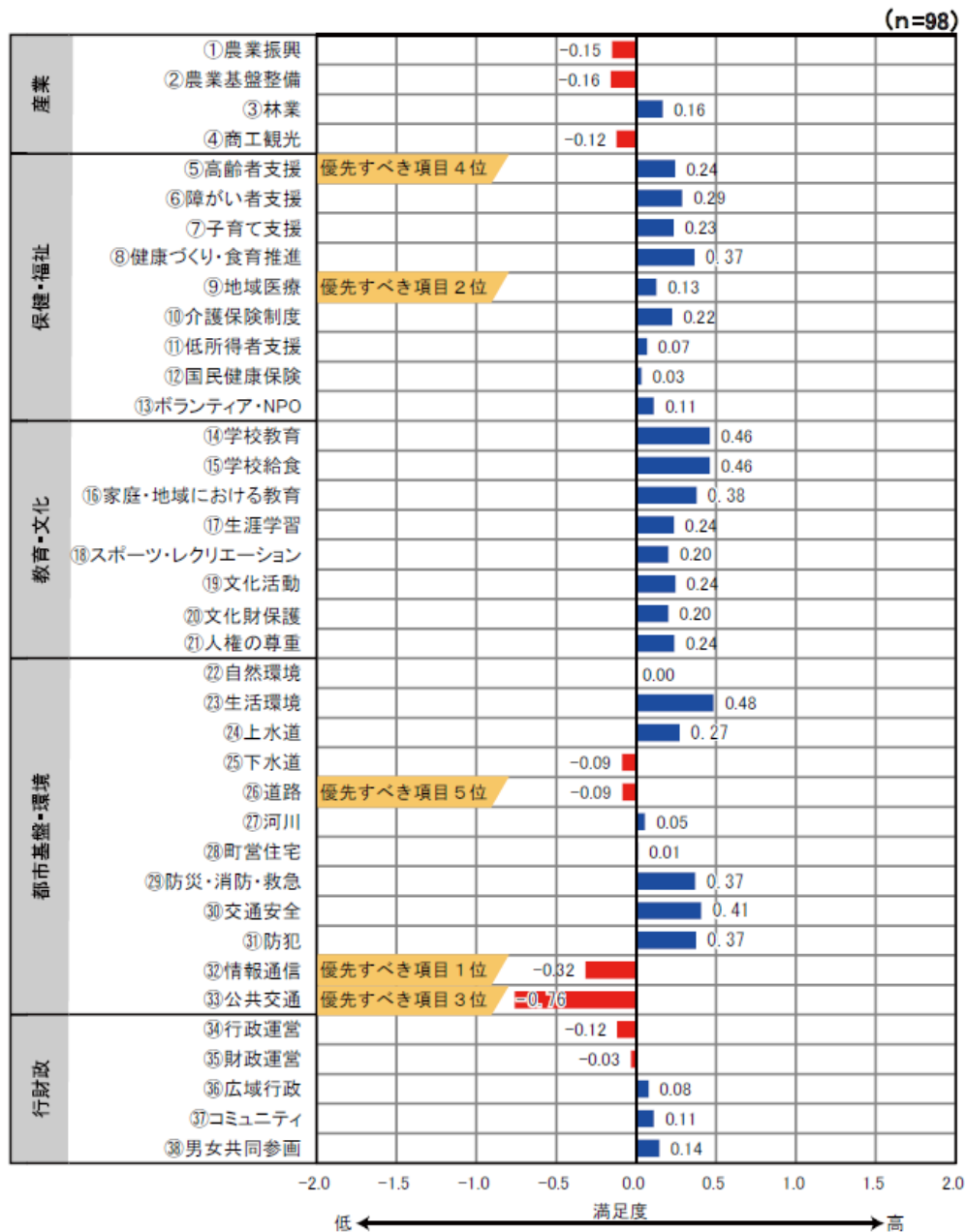
小地域別の空家数



町民意向調査結果 (満足度) ※面河地域

- ▶ **③③公共交通**や**③②情報通信**は特に満足度が低い
- ▶ 今後、優先すべき項目は**③②情報通信**や**⑨地域医療**など

現状の評価 (面河地域) →

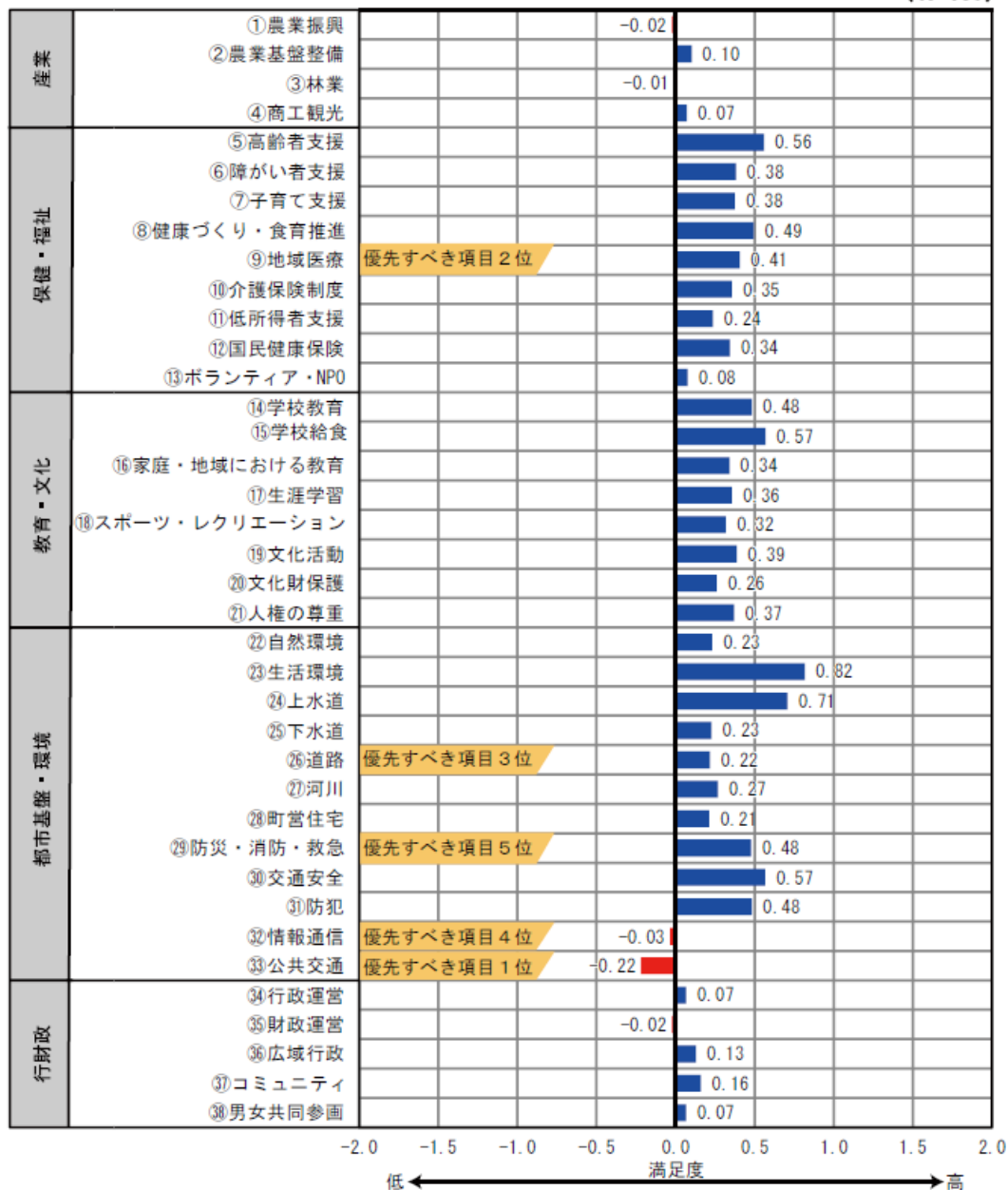


(n=189)

町民意向調査結果 (満足度) ※美川地域

- ▶ いずれの項目も満足度は高いが、**③③公共交通**や**③②情報通信**は特に満足度が低い
- ▶ 今後、優先すべき項目は**③③公共交通**や**⑨地域医療**など

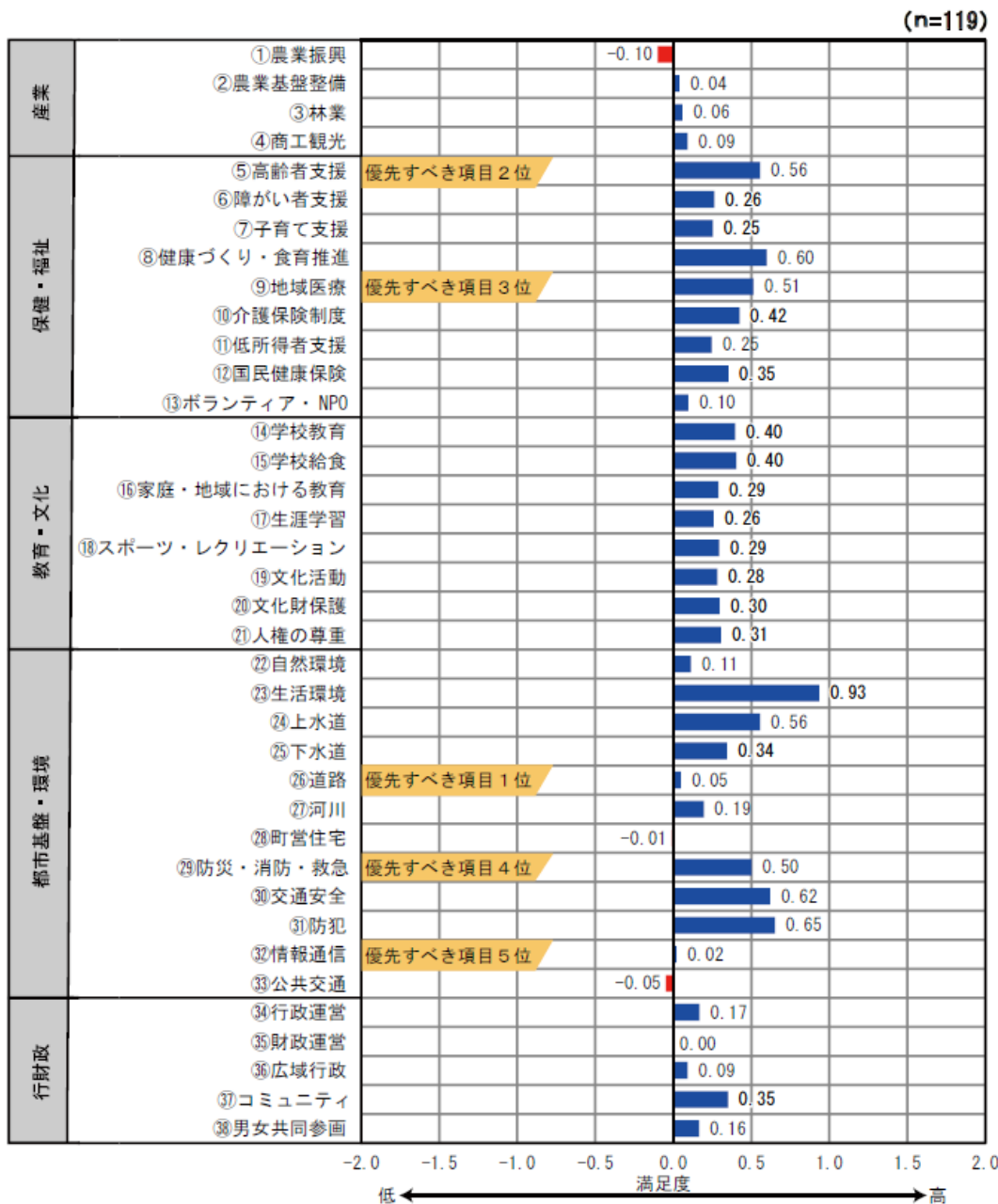
現状の評価 (美川地域) →



町民意向調査結果 (満足度) ※柳谷地域

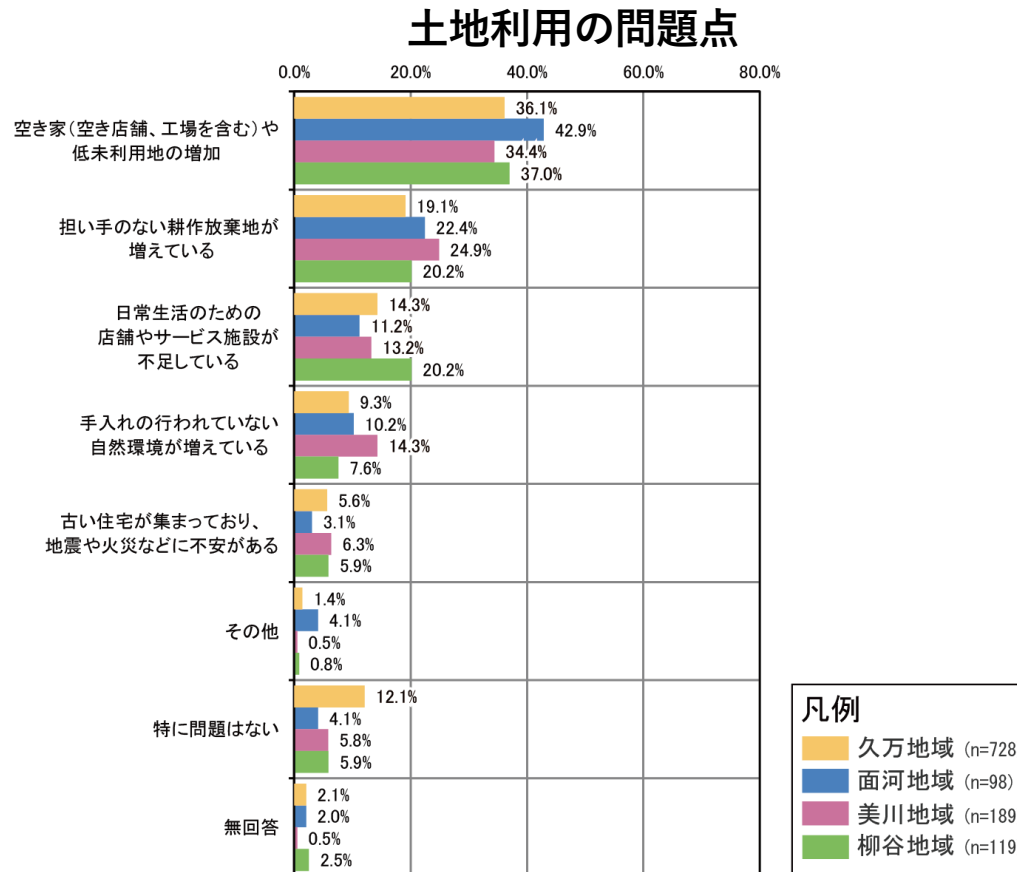
- ▶ いずれの項目も満足度は高いが、**①農業振興**や**③公共交通**は比較的満足度が低い
- ▶ 今後、優先すべき項目は**②6道路**や**⑤高齢者支援**など

現状の評価 (柳谷地域) →



町民意向調査結果 (土地利用上の課題)

- ▶ 面河地域：「空き家や低未利用地の増加」
- ▶ 美川地域：「耕作放棄地の増加」や「手入れ不足の自然環境」
- ▶ 柳谷地域：「日常生活のための店舗やサービス施設の不足」



(2) 地域づくりの目標・方針

面河地域

地域づくりの目標

- 仁淀川の源流域に位置し、西日本最高峰の石鎚山や国指定名称 面河溪等の久万高原町を代表する自然資源を保全・活用し、レクリエーションとしての場の形成を図るとともに、町内外の交流を促進します
- 面河支所周辺については、生活の利便性向上を図りつつ、既存集落の活性化やコミュニティの維持を図るため、地域の生活拠点の形成を推進します
- 中心拠点と連携した新しい公共交通の導入を検討します



石鎚山国定公園



面河支所

暮らし

観光

自然
景観

- **公共交通空白地**：地域運営協議会等と連携した取組・支援を推進、デマンドタクシーの充実
- **バス路線**：路線の維持・確保
- **渋草団地**：個別改善
- **空き家等**：「空家等対策計画」に基づいた取組、「移住定住促進空き家活用住宅」としての積極的な取組
- **用途廃止など、本来の役割を終えた公共施設**：建物の利活用や除却、跡地活用など、地域の状況に合わせた使用方法を検討

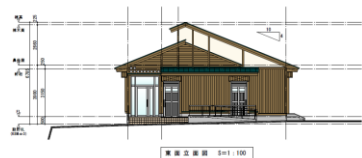
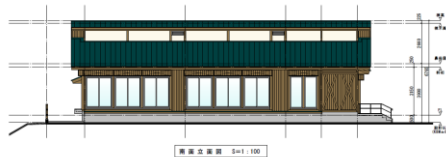
など

暮らし

観光

自然
景観

- **面河溪**：観光拠点施設「(仮称)面河アウトドアセンター」の整備(予定)
- **面河山岳博物館**：適切な維持管理・機能充実
- **関門地区**：観光拠点として、温泉等のレジャー施設、宿泊施設の整備検討
- **キャンプ場等**：必要に応じて整備・拡充を検討するとともに、既存の施設については更なる有効活用、オートキャンプ場の整備検討
など



(仮称) 面河アウトドアセンター



面河山岳博物館

暮らし

観光

自然
景観

- **石鎚山系**：山並みの眺望景観と自然資源の保全
- **面河溪・面河溪周辺**：石鎚山の眺望景観を保全し、面河溪に棲む生物と共生した景観整備の推進
- **大成林道沿線一帯に生息するヒメボタル**：適切な維持管理・機能充実

など



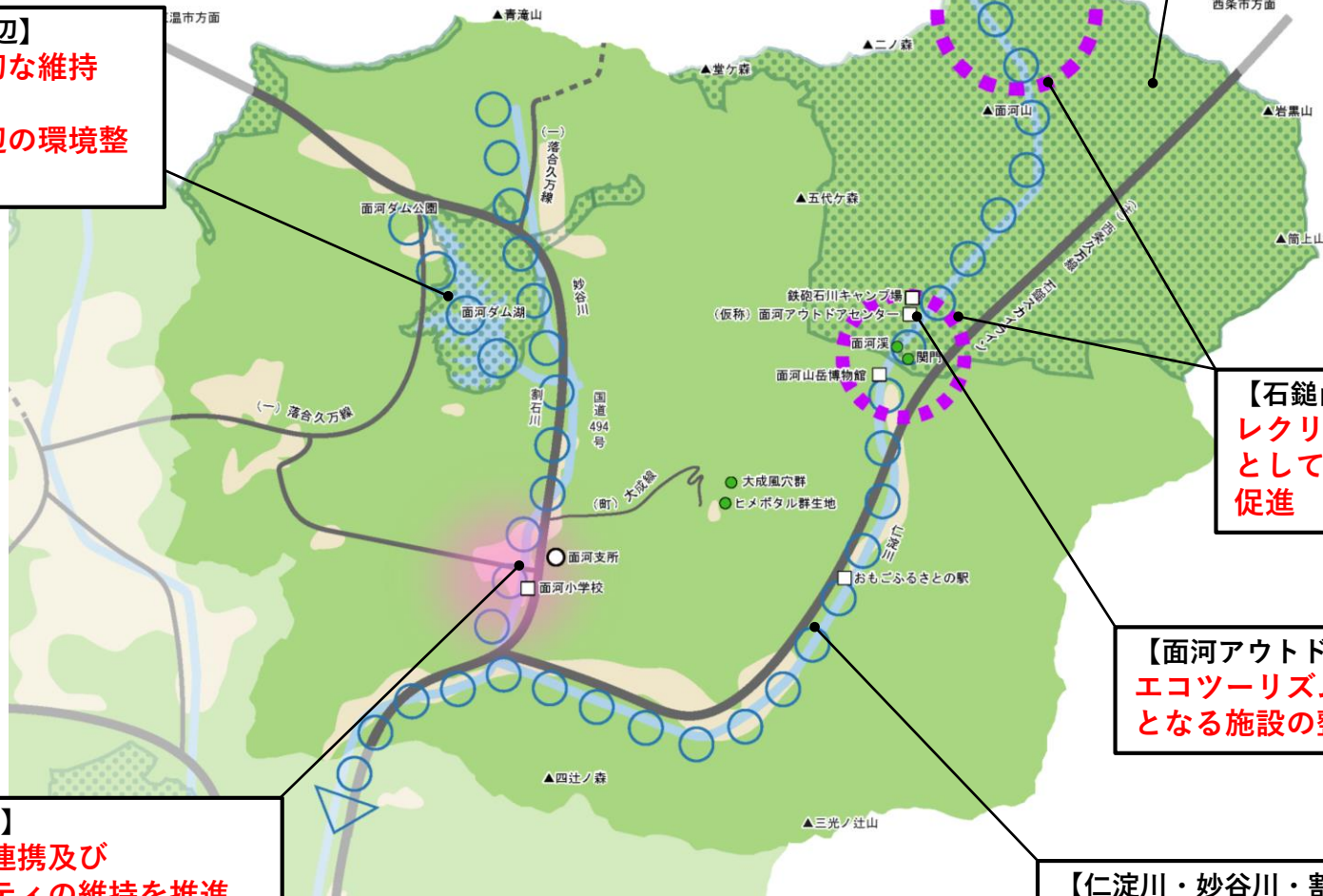
紅葉の石鎚山



面河溪

地域づくりの方針図

【面河ダム湖周辺】
面河ダムの適切な維持
管理の促進
面河ダム湖周辺の環境整備
の推進



【石鏡国定公園、皿ヶ峰連峰
県立自然公園】
優れた自然環境の保全及び
維持管理の促進

【石鏡山・面河溪周辺】
レクリエーションの場
として町内外の交流を
促進

【面河アウトドアセンター】
エコツーリズム・交流の拠点
となる施設の整備・運営

【面河支所周辺】
中心拠点との連携及び
地域コミュニティの維持を推進

【仁淀川・妙谷川・割石川】
安全で快適な水辺空間として
適切な維持管理の促進

(3) 地域づくりの目標・方針

美川地域

地域づくりの目標

- 国指定史跡 上黒岩岩陰遺跡、県指定名勝 御三戸嶽など、歴史・自然的資源等を活用し、地域の特性を活かしたまちづくりを推進します
- 美川支所周辺については、生活の利便性向上を図りつつ、既存集落の活性化やコミュニティの維持を図るため、地域の生活拠点の形成を推進します
- 地域住民と連携し、公共交通空白地有償運送を実施するなど、地域のニーズに応じた交通手段の維持・確保に取り組めます



上黒岩岩陰遺跡



県指定名勝 御三戸嶽



美川支所

暮らし

観光

自然
景観

- **公共交通空白地**：地域運営協議会等と連携した取組・支援を推進
- **美川福祉バス**：路線の維持・確保
- **美川中学校**：老朽化の進行に伴う体育館の改修
- **御三戸第一団地、御三戸第二団地、仕七川団地**：個別改善
- **美川支所**：一部スペースをコワーキングスペースとして活用
- **用途廃止など、本来の役割を終えた公共施設**：建物の利活用や除却、跡地活用など、地域の状況に合わせた使用方法を検討

など

暮らし

観光

自然
景観

- **四国八十八箇所霊場第45番札所岩屋寺**：遍路道の保全と歴史文化施設らしい景観を守り、継承
- **上黒岩考古館、旧山中家住宅**：歴史資源とその周辺を一体として景観を保全、展示スペースのリニューアル化
- **道の駅みかわ**：天空の郷さんさんとの適切な機能分担
- **キャンプ場等**：必要に応じて整備・拡充を検討するとともに、既存の施設については更なる有効活用、オートキャンプ場の整備検討

など



岩屋寺



道の駅みかわ

暮らし

観光

自然
景観

- **御三戸嶽**：美しい水辺景観がみられる仁淀川沿いの河川景観保全
- **藤社や上黒岩周辺の茶畑**：景観保全
- **トロメキ地区の棚田や民家が点在する里山景観と生活景観**：維持継承

など



藤社地区 茶畑



トロメキ地区 棚田

地域づくりの方針図

【岩屋寺周辺・上黒岩岩陰遺跡周辺】
歴史資源を活かしたレクリエーション
の場として活用

【大川嶺周辺】
滞在型観光の環境構築
の推進

【四国カルスト県立自然公園】
優れた自然環境の保全及び
維持管理の促進

【高知松山自動車道】
高知松山自動車道の事業化の促進

【仁淀川等】
安全で快適な水辺空間として適切な
維持管理の促進

【美川支所周辺】
中心拠点との連携及び
地域コミュニティの維持を推進



(4) 地域づくりの目標・方針

柳谷地域

地域づくりの目標

- 日本三大カルストの1つである四国カルストを活用し、町内外の交流を育むとともに、その他の地域への周遊を促す仕組みを検討します
- 柳谷支所周辺については、生活の利便性向上を図りつつ、既存集落の活性化やコミュニティの維持を図るため、地域の生活拠点の形成を推進します
- 施設跡地等や既存ストックについては、地域にニーズに応じた活用を図ります



四国カルスト



柳谷支所

暮らし

観光

自然
景観

- **公共交通空白地**：地域運営協議会等と連携した取組・支援を推進、デマンドタクシーの充実
- **バス路線**：路線の維持・確保
- **永野住宅、大成住宅**：個別改善
- **空き家等**：「空家等対策計画」に基づいた取組、「移住定住促進空き家活用住宅」としての積極的な取組
- **用途廃止など、本来の役割を終えた公共施設**：建物の利活用や除却、跡地活用など、地域の状況に合わせた使用方法を検討

など

暮らし

観光

自然
景観

- **八釜の甌穴群**：エメラルドグリーンの清流景観
- **姫鶴平、五段高原、天狗高原を結ぶ県道383号四国カルスト公園縦断線**：快適な高原景観の維持
- **中津花桃の里**：観光に向けた周辺整備の推進

など



八釜の甌穴群



四国カルスト姫鶴平

暮らし

観光

自然
景観

- **大川嶺・伊豆ヶ谷ブナ原生林**：美しい水辺景観がみられる仁淀川沿いの河川景観保全
- **仁淀川支流黒川沿線**：景観保全
- **中津集落にある西村大師堂のしだれ桜**：維持継承

など



中津集落



仁淀川支流 黒川

地域づくりの方針図

【清和寮周辺】
遊休施設を活用したレクリエーション活動の場の創出検討

【八釜の甌穴群】
遊歩道や休憩所等、八釜溪谷の環境整備の推進

【姫鶴荘】
適切な維持管理・機能充実および体験型事業の創出検討

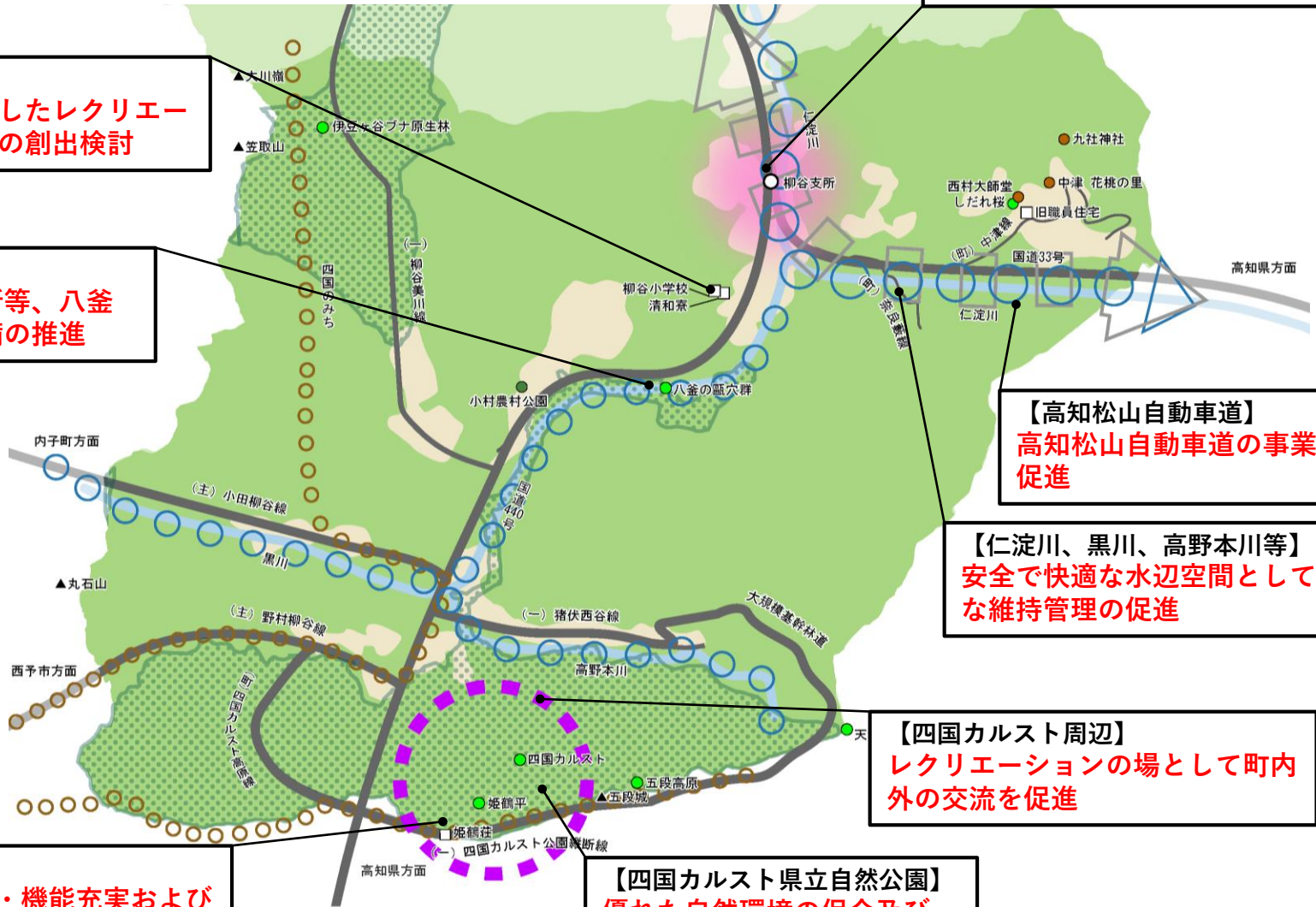
【四国カルスト県立自然公園】
優れた自然環境の保全及び維持管理の促進

【柳谷支所周辺】
中心拠点との連携及び地域コミュニティの維持を推進

【高知松山自動車道】
高知松山自動車道の事業化の促進

【仁淀川、黒川、高野本川等】
安全で快適な水辺空間として適切な維持管理の促進

【四国カルスト周辺】
レクリエーションの場として町内外の交流を促進



ステップ1 『地域づくりの方針』の検討

① 名前の記入

⇒ 台紙に名前を記入し、
名札ケースに入れて首にかける

② 今後必要な方針や取組等

⇒ 付箋に記入

③ グループ内で共有

⇒ 自己紹介とあわせて
付箋を図面に貼って説明

